

官報 號外

大正八年三月五日 水曜日

印刷局

第四十二回 衆議院議事速記録第十九號

大正八年三月四日(火曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十八號 大正八年三月四日

午後一時開議

質問

- 一 食糧政策ニ關スル質問(小橋瀧三衛君提出)
- 二 外交問題ニ關スル質問(押川方義君提出)
- 三 吉野川改修工事ニ關スル質問(高島兵吉君提出)
- 四 航空取締ニ關スル質問(横山勝太郎君提出)
- 五 市町村吏員優遇ニ關スル質問(荒川五郎君提出)
- 六 社會主義取締ニ關スル質問(鈴木富士彌君提出)
- 七 甘藷作ニ關スル質問(我如古樂一郎君提出)

第一 私立學校用地免租ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 耕地整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 大正六年度豫備金支出ノ件

第六 大正六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

第七 大正六年度特別會計豫備金支出ノ件

第八 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第九 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第十 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第十一 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第十二 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第十三 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

第十四 大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ガアリマス

(原田書記官朗讀)

一去一日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

私立學校用地免租ニ關スル法律案

耕地整理法中改正法律案

大正六年度豫備金支出ノ件

大正六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計豫備金支出ノ件

町村制中改正法律案

提出者 下岡 忠治君

府縣制中改正法律案

提出者 下岡 忠治君

郡制中改正法律案

提出者 下岡 忠治君

今四日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

山口縣德山港ヲ特別輸出入港ト爲スノ建議案

提出者 渡邊 祐策君

馬匹獎勵ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

圓山川改修ニ關スル建議案

提出者 石射文五郎君

人權保護ニ關スル法律案

提出者 齋藤 珪次君

刑事訴訟法中改正法律案

提出者 高木益太郎君

一去二十七日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

東京帝國大學醫科大學內精神病學教室及病室新設ニ關スル質問主意書

提出者 山根 正次君

一去一日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

地方稅制限ニ關スル質問主意書

提出者 小林嘉平治君

同仁會ニ關スル質問主意書

提出者 秋山 金也君

一去一日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員小山松壽君提出勞働政策ニ關スル質問

二對スル答辯書

大正八年三月一日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員小山松壽君提出勞働政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員小山松壽君提出勞働政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

資本家ト勞働者トハ其ノ利害ヲ一ニシ互ニ協調信愛ノ念ヲ以テ事ニ當ルヘキモノト認ムルカ故ニ政府ハ勞働者カ益其ノ智能ヲ啓成シ共同自省ノ精神ヲ涵養スルト共ニ資本家ニ於テモ亦克ク勞働者ノ生活ノ實況ト其ノ思想ノ傾向トヲ理解スルニ努ムコトハ其ノ最モ希望スル所ニシテ如斯ニシテ兩者ノ關係ヲ圓滿ナラシメ相互ノ福利ヲ増進セシムルコトヲ得ヘシト信ス而シテ治安警察法第十七條ハ勞働團體ノ加入ノ強制若ハ其ノ妨礙ニ付暴行脅迫等ノ不正手段ヲ用ヒ又ハ同盟解雇同盟罷業ヲ遂行セシムルカ爲誘惑煽動スルコトヲ禁止スルモノニシテ穩健ナル勞働團體ノ成立等ハ之ヲ阻礙スルモノニ非スト認ム

大正八年三月一日

内務大臣床次竹二郎

一 去一日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出)

大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出)

不動産登記法中改正法律案(政府提出)

帝國大學特別會計法中改正法律案(政府提出)

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出)

大正七年法律第四號中改正法律案(政府提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去二十七日地方鐵道法案外四件委員本田恆之君辭任ニ付其補闕トシテ臼田久内君ヲ精神病院法案

委員山根正次君、磯貝浩君、長島律太郎君辭任ニ付其補闕トシテ佃安之丞君、小山松壽君、唐端清太郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 去二十八日衆議院議員選舉法中改正法律案委員岩崎總十郎君、川原茂輔君、松永安左衛門君辭任ニ付其補闕トシテ大石五郎君、小久保喜七君、石原正太郎君ヲ、農工銀行法中改正法律案外一件委員

高戶郁三君辭任ニ付其補闕トシテ土井權大君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 去二十七日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第四部選出

決算委員 前田卯之助君

一 去二十八日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第四部

決算委員 大谷 高寬君(前田卯之助君補闕)

一 去二十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

執達吏規則中改正法律案外一件委員

委員長 則元 由庸君 理事 津末 良介君

農工銀行法中改正法律案外一件委員

委員長 天春 文衛君 理事 松井文太郎君

日露語學校設置ニ關スル建議案委員

委員長 小橋藻三衛君 理事 一宮房治郎君

松本鐵道建設ニ關スル建議案委員

委員長 丸山嵯峨一郎君 理事 古川 清君

農務省新設ニ關スル建議案委員

委員長 中倉方次郎君 理事 上田彌兵衛君

一 去一日衆議院議員選舉法中改正法律案委員理事

補闕選舉ノ結果左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案委員理事

理事 石原正太郎君(理事松永安左衛門君補闕)

關

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸問事項

ガアリマス、左ノ議員ヨリ請願ノ申出ガアリマス、病氣ニ付

キ去ル一日ヨリ向十日間山田正年君、病氣ニ付キ去ル一

日ヨリ向フ二十五日間生田和平君、病氣ニ付キ去ル一日

ヨリ向フ十日間仙石貢君、病氣ニ付キ去ル五日ヨリ向フ二

週間關直彦君、海外旅行ニ付キ去ル四日ヨリ向フ二十六日マデ

松永安左衛門君、病氣ニ付キ去ル四日ヨリ向フ三週間紫安

新九郎君、右何レモ請願ノ願出ガアリマスルガ、許可スルニ

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ許可致シマス、

尙ホ四部選出決算委員中野寅次郎君、右常任委員辭任

ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ之ヲ許可致シマ

ス、第四部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ届出アランコトヲ

望ミマス

○武市彰一君 決算委員會ヲ開キタク存ジマスカラ、御許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス

○武市彰一君 ドウゾ決算委員ノ諸君ハ、委員室ニ御集

リテ願ヒタクゴザイマス

○丸山嵯峨一郎君 松本鐵道建設ニ關スル委員會ヲ開

キタクゴザイマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス

○高木益太郎君 議事進行ニ就テ政府ニ質シタイノデア

リマスルガ、政府ハ本議會ノ初ニ、貴族院ノ方ヘ借地入法

ノ御提案ガアリマシテ、此借地入法ニ關スル規定ニ就キマ

シテハ、明治四十二年ニ借地人保護法ナルモノガ提案ニ

ナツテ、本院ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲシテ、貴族院ノ方ヘ送

リマシタ所ガ、其重要ナル規定ヲ削除セラレマシテ、其削除

シタル理由ト云フモノハ、尙ホ鄭重ニ審查ヲスルト云フ意味

ヲ創ラレタト云フコトハ、吾々ノ記憶ニ存スル所デアリマス、

其後本院カラ、屢、滿場一致ヲ以テ可決ヲシタ借地人保護

ニ關スル法案ガ貴族院ノ方ヘ送付ニナリマシテモ、何時モ

貴族院ノ審查未了デ今日マデ過ギタノデアリマス、前議會

ニ於テ政府モ借地入法ノ必要アルコトヲ自覺セラレテ、先

ヅ貴族院ノ方ヘ借地入法ヲ御提案ニナツタノデアリマスル

ガ、是モ審查未了デ遂ニ法律ト云フモノガ成立シナイデシ

マツタノデアリマス、今回モ亦政府ハ貴族院ノ方ヘ同趣意ノ

法律ヲ御提案ニナリマシタ所ガ、今日ノ新聞ヲ見マスルト

云フト、一向此委員會ガ進行ヲセスト云フ事ヲ聞イテ、吾々

甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、此故ニ政府ハ御自身ノ御提

案ニナツタ法案ノ成立スルヤウニ、貴族院ノ委員會ニ對シテ

速ニ議事ヲ進行スルヤウ御要求アランコトヲバ政府ニ質シ

タイノデアリマス

○議長(大岡育造君) 是ヨリ質問ニ移リマス、日程ノ質

問ノ第一、食糧政策ニ關スル質問、小橋藻三衛君

一 食糧政策ニ關スル質問(小橋藻三衛君提出)

食糧政策ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月八日

提出者 小橋藻三衛 賛成者 鈴木梅四郎

外三十二人

食糧政策ニ關スル質問主意書

食糧不足ニ對スル政策トシテ政府ノ説明ニ依レハ輸入

關稅撤廢ニヨリテ當面ノ不足ヲ救済シ開墾助成ニヨリ

テ後年ノ自給ヲ謀ルト云フニ在ルモ此ノ如キ方策ニテハ

到底我々國民ノ膨脹力ニ伴フヘキ確實ナル食糧供給ヲ

爲シ得ヘカラスト信ス

〔拍手起ル〕

二著ク

【附】

不足ヲ當面ノ不足ハ補充ガ出來ルト云フコトニナッテハ居
リマス、併シ果シテ是ガ豫定ノ通りニ行ケルノデアルカドウ
デアルカ、最近ハ成程定期米ノ如キハ非常ニ下ゲテ居リマ
ス、併ナガラ正米ハ餘リ下ゲテ居ナイノデアリマス、サウシテ
此植民地ノ狀況ヲ見ルト、臺灣ノ如キ、或ハ朝鮮ノ如キニ
致シマシテモ、内地ニ移入スルト云フコトハ、隨分反對ノ聲
ガ高イノデアリマス、彼等ノ米ヲ減ジ、サウシテ價格ガ騰貴
スルト云フ聲ガアルノデアリマス、又支那ノ如キハ、即チ防穀
令ニ依ッテ米ヲ持出スト云フ事ニハ反對ヲ致シ、海外ニ於テ
蘭貢ノ如キ、柴棍ノ如キ、或ハ東京ノ如キ、暹羅ノ如キヲ通
ジテ、約三千万石ノ輸出力アリト稱シテ居リマス、其二分
ノ一ノ輸出力ヲ持テ居ル所ノ蘭貢ハ、印度ノ饑饉ニ依ッテ
全ク輸出禁止ヲ致サレテ居リマス、又安南暹羅ノ如キ船腹
其他ノ關係ニ依ッテ、餘リ抄ミシイ輸出ヲ見ルコトガ出來ナ
イ、唯、殘存ノ所ハ其四分ノ一ノ輸出力ヲ持テ居ル柴棍方
面デアリマス、是ハ此各所ノ注文ガ殺到致シタ爲メニ、隨
分價格モ騰リ、サウシテ又此日本ニ對シテ輸出スルト云フ
コトハ、最近ニハ幾ラカ緩和セラルタ云フ情報モ傳ヘッテ
居リマス、傳染病ノ流行地ト認メタト云フコトガアリマス、
若シ之ガ輕微ナ事ヲ相濟メバ宜シイケレドモ、非常ニ猛烈
ノ流行地ト云フコトニナルト、此物ヲ日本ヘ輸入スルト云フ
コトハ、或ハ困難ヲ來シハナイカ、斯ノ如ク考ヘテ見マスル
ト、現在ノ唯、此輸入稅ヲ撤廢スルトカ、或ハ此ノ雜穀ノ輸
入稅ヲ廢減スルトカ云フコトニ依ッテ、安全ニ十分ニ輸入シ
得ルヤ否ヤト云フコトハ、甚ダ前途ガ氣遣ハレル次第デアリ
マス、又此開墾助成法ハ成程結好ナ事デアリマス、ケレド
モ、近事此一般農間ノ狀況ヲ以テ見マスルト、兎角都會ニ
走ル、農業ヲ廢メテ商工業ニ走ルト云フコトハ一般ノ傾向
デアリマス、是ハ何故ニ左様デアルカト申セバ、勞力ニ對スル
收入ノ率ヲ他ノ職業ト比較シテ見ルト、或ハ此勞働ノ狀況
ヲ他ノ職業ノ生活狀態ト比較シテ見ルト云フ上カラ、斯様
ナ現象ガ續々現レ來テ居ル譯デアリマス、サウ致シテ見ルト
云フト、果シテ此政府豫定ノ通りニ、此開墾助成法ガ旨ク
進行スルカドウカ、假リニ之ガ旨ク進行ヲ致スト致シマシテ、
十五年ノ後ニドウナルノデアルカ、三十五万町歩ノ開墾ヲ
スルト云フノデアリマス、此二十五万町歩ノ開墾地ガ、十
五年ノ後ニ於テ舊來ノ熟田ト同一ノ收穫ヲ見ルコトハ困難
デアリマス、假リニ之ヲ一段一石ノ收穫ヲ得ルモノト致シテ、
五百万石ニ過ギナイノデアリマス、然ルニ一方十五年ノ後
ノ我國民ノ膨脹スル數ハ如何デアアルカト申セバ、約一千二
三百万人ノ増加ヲ致スコトハ確カデアルト考ヘマス、左様
致シマスルト云フト、此物ノ費消量ガ今日ノ率ヲ以テ申シ

マスレバ、一千五六百万石ノ米ヲ確ニ十五年後ニハ要スル
ノデアリマス、ソレヘ持ッテ來テ開墾助成法ガ完成致シテ、
五百万石ノ米ヲ得タト致シテモ、増加シタ人口ノ三分ノ一
ノ食糧ヲ得ルコトガ漸クノ事デアリマス、若シモ吾々日本人
ガ不老不死デアリ、サウシテ此十五箇年生殖機關ヲ休止
スルコトガ出來タナラバ、カッー（此食糧ハ自給自足ヲス
ルカモ知レマセヌ、併ナガラ人生自然ノ新陳代謝ガ行ハレ、
生殖作用ガ間斷ナク行ハレルト致シマスレバ、到底此十五
年後ニ於テ、自給自足ハ思ヘラヌ事デアルト考ヘルノデ
アリマス、更ニ五十年後ヲ考ヘマスルト云フト、吾々今日ノ
人口ハ確ニ二倍以上ニ増加スル、即チ一億二二千万人ト
相成ル、此要スル米ハ今日ノ率ヲ以テスレバ、一億五六千
万石ヲ要スルコトニナルノデアリマス、更ニ百年後ヲ考ヘマ
スト、今日ノ人口ノ増加ノ四倍以上ニ相成ル、即チ二億五六
千万人以上ニ増加ヲ致ス、此要スル米ノ量ハ、殆ド三億萬
石ニ近イ米ヲ要スルノデアリマス、如何ニ我國ガ自給
自足ノ方法ヲ立テタルト致シマス、此限リナキ國民ノ膨
脹力ニ伴フ自給自足ハ、思モ依ラヌ事デアルト考ヘルノデ
アリマス、然ラバ如何ニシテ之ニ對シテ食糧ノ安定ヲ得ルカ
ト申セバ、先ヅ當面ノ急ヲ救フ安定法ト致シマシテ、何故
ニ政府ハ此植民地タル臺灣、朝鮮ハ固ヨリ、支那方面ニ
向ッテ、技術ヲ資力ト注イデ、此當面ノ急ヲ救フコト云フコ
トヲ御講ジニナラナイノデアリマス、朝鮮ノ如キハ水田
約百二十万町歩、而シテ其得ル所ハ一千二百萬石ニ過ギ
ナイノデアリマス、即チ一反一石デアリマス、之ヲ大ナル經
費ヲ掛ケテ、水利灌溉ヲ致スト云フ事ハ、暫ク差控ヘルト
致シマシテモ、内地ノ熟練シタル技術家ヲ送り、而シテ又此
内地ノ如キ立派ナル肥料ヲ之ニ施スト云フコトヲ講究致シ
タナラバ、朝鮮ニ於テ五割六割ノ增收ヲ得ルコトハ何デモ
ナイ事、即チ五六百万石ノ增收ヲ得ルコトハ容易ナ事デア
リマス、少シ之ニ力ヲ加ヘルナラバ、殆ド今日ノ二倍ノ米ヲ
得ルコトハ、左程難事デハナイノデアリマス、又支那ノ如キ
モ、成程今日ハ防穀令ヲ布カザルヲ得ナイ、大ナル輸出ヲ
致セバ、支那自體ノ食糧不足ヲ來スガ故ニ、是ハ固ヨリ當
然ノ事デアリマス、併ナガラ我國ノ最モ世界ニ於テモ特絶
致シテ居ル所ノ米作ノ技術、此技術家ヲ支那ニ送り、或ハ
日支共辦ニ依ッテ此肥料會社ヲ立テ、サウシテ日本内地
ノ米價ヲ會ス程ノ事ヲヤシケナイカ、國ガ要スル三百
萬石ナラ三百萬石、五百萬石ナラ五百萬石、我國トノ協
調ヲ保ンテ、此支那方面ニ於テ技術ヲ肥料ヲ相當ニ施スト
云フナラバ、相當ノモノヲ得ルコトガ出來マス、是ハ江蘇、浙
江或ハ安徽ノ方面ニ於テ、此手段ヲ施スナラバ、恐クハ二
十年三十年後ニ米ヲ得ルト云フコトハ、左程難事デハナイ

ト考ヘルノデアリマス、此點ニ就キマシテハ非常ナル考慮ヲ
要スルト云フコトハ、前年此米國、或ハ英國等ガ、亞米利
加、印度等ノ棉政策ニ依ッテ日本ヲ苦メテ以來、我國ノ棉
ノ供給ハ、朝鮮、支那方面ニ特クナケレバナラナイト云フコ
トハ識者ガ唱ヘテ居リナガラ、未ダ實現ヲ致サナイ今日ノ
狀態デアリマス、然ルニ最近ニ至ッテ「マンチエスター」ヲ始メ
英吉利ノ各地ノ商業會議所、或ハ米國ノ實業家、當局者
等ガ、盛ニ其技術ヲ其資本トシテ支那方面ニ出掛ケ
テ、棉ノ調査ニ取掛タト云フコトハ、恐レキ出來事ナリ
ト思フノデアリマス、若シ日本ガ一步ヲ遅レルナラバ、彼等
ハ或ハ此米作ニ就テモ、先鞭ヲ著ケナイトモ限ラナイノデア
リマス、故ニ我國ハ宜シク此食糧政策ノ安定ヲ圖ラントス
ルナラバ、或レ程度ノ技術ヲ資力ト注イデ、此植民地、支
那方面ニ於テ相當ナル施設ヲスルコトガ必要デハナイカ、政
府ハ此點ニ就テモ、何等カノ御考慮ガ有ルカ無イカ、政
云フコトヲ伺フテ見タイノデアリマス、又我國ノ食糧問題ハ、
決シテ斯様ナ姑息ナ事ニ依ッテ最後ノ決定ハ著カナイノデ
アリマス、何故ナラバ五十年後ニ今日ノ人口ガ二倍シ、百
年後ニ四倍以上ニ増加スルト云フコトニ於テハ、如何ニシ
テモ此人口問題ノ解決ヲ著ケナケレバ、食糧ヲ安定セシメ
ルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、然ルニ彼ノ歐米
ノ政治家ハ、現ニ巴里ニ於ケル此講和會議ニ於テ確ニ人
種的差別待遇撤廢ヲ斥ケテ、彼等ハ之ヲ肯カナイト云フコ
トガ傳テ居ルノデアリマス、一面顧ミレバ、歐羅巴戰亂ノ
眞最中、彼レ聯合國ハ猫ノ手モ杓子ノ手モ借リタイト云フ
時ニ於テ、我が日本ノ努力ニ依ッテ、非常ナル聲援ヲ得タト
云フコトガ現ニ有ル、其當時ニ於テ彼レ英吉利ハ、日本ノ
莫大小輸入ノ禁止ヲ致シタノデアリマス、此時ニ於テ亞米
利加ガ其裏面ニ於テ如何ナル活躍ヲ致シタカト云フコト
ハ、即チ慧眼ナル識者ハ夙ニ看破致シテ居タコトデアリマ
ス、其後亞米利加ガ此鐵ノ輸出禁止ヲ致シタ、決シテ
彼ハ鐵不足デハナイ、鐵ハ有り餘テ居ルニモ拘ラズ、鐵ノ
輸出禁止ヲ致シテ、日本ヲ苦メタノデアリマス、此時ニ
於テ英吉利ガ、其裏面ニ於テ如何ナル活動ヲ致シタカト云
フコトモ、慧眼ナル識者ハ夙ニ看破致シテ居タコトデアリマ
ス、又最近ハ此英吉利ハ固ヨリ亞米利加ヲ大資本家大
銀行家ハ、一致協同、非常ニ恐ルベキ堅實ナル計畫ヲ以
テ露西亞殊ニ西伯利亞方面、支那方面ニ向ッテ、非常ニ彼等
ハ大計畫ヲ以テ經濟上ノ侵略ヲ試ミント致シテ居ルノデア
リマス、即チ彼等ハ我國ノ此張出スベキ殖民地方面ニ於
テハ、總テ之ヲ禁止致シテ、而シテ彼等ハ此自分ノ經濟戰
ヲ思フ儘ニ進メテ居ル、即チ軍國主義ノ此獨逸ノ遺方ヲ打
破シテ、即チ鐵血の帝國政策ヲ右ノ手ニ於テ破シテ、左ノ手

ヲ以テ經濟の帝國主義ノ施ヲ進メツ、アルノデアリマス、即チ刀ヲ以テ人ヲ殺スノ術ヲ止メテ、金ヲ以テ人ノ咽喉首ヲ締メルト云フ政策ヲ執テ居ルノデアリマス、此所謂列國平和會議ニ於テ、國際聯盟ヲ唱へ、軍備制限ヲ唱へ、海洋ノ自由ヲ唱へマシテモ、此經濟的ノ自由自在ナル侵略主義ノ制限ヲスルト云フコトデナク、又人種の差別待遇ノ撤廢ヲスルト云フコトデナク、決シテ眞ノ平和、眞ノ幸福ト云フモノヲ得ルコトガ出來ナイ、殊ニ我國ノ此食糧問題最後ノ解決ハ、到底著カナイト信ズルノデアリマス、諸君、我國

ガ此二十七八年戰役ガ終リマシテ、朝鮮ノ國ニ初メテ日本人ガ入ッテ、朝鮮ノ溝ニ鰻搔一挺ヲ下ゲテ參リマスルト、一日ニ二十貫三十貫ノ鰻ヲ得タノデアリマス、所ガ不思議ニ其朝鮮ノ鰻ハ、頭ガ非常ニ大キクシテ、胴體ガ細クシテ、些少モ美味クナイ、食スルニ堪ヘナイ、所ガ二十一年後ノ今日ニ於テハ、朝鮮ノ溝ニ鰻搔ヲ入レマシテモ、一貫ニ纔ニ一貫ニ貫ノ鰻以上ハ獲レナイノデアリマス、不思議ニ今日ノ朝鮮ノ鰻ハ、頭ガ細クシテ胴體ガ太ク、内地ト變ラナイ非常ニ美味イ鰻デアル、何故カト云ヘバ、即チ數百年間、數

苦不入汚池魚龜不勝食也」デ食糧不足ノ爲メニ、頭ガ太クテ胴體ガ細クナッテ居タノデアリマス、若シ今日ノ如ク人種の差別撤廢ヲ斷行スルトコトヲ行ケテ、一面ニ經濟的ノ帝國主義ヲ進メテ、所謂我國ノ發展スベキ咽喉首ヲ締メルト云フコトヲ、彼レ歐米ノ政治家ガヤルト云フニ付テハ、我國民ハ朝鮮ノ鰻ヲランコトヲ憂フルノデアリマス、斯ノ如キ事ハ、此平和會議ニ於キマシテ撤廢致サナイト云フコトハ、我

ガ六千万ノ熱誠ガ届カナイノデアリカ、或ハ講和大使ノ努力ガ足リナイノデアリカ、彼レ歐米ノ政治家ガ、口ニハ自由平等ヲ唱ヘナガラ、其心ニハ人類共存ノ大意義ヲ理解シナイ爲メニ、斯様ナ事ニナルノデアリマス、此點ニ就キマシテハ、政府ハ如何ナル抱負ヲ持ッテ、如何ナル解決ヲ致シテ、前途永遠ニ互ル此人口ノ問題、食料政策ノ十分安定ヲ圖ルト云フ御意見デアリマス、此點ニ就キマシテ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、固ヨリ一面此食糧ノ豐富ヲ計ルト同時ニ食料ノ轉換ヲ行ッテ、麥雜穀ヲ食フト云フ事モ宜シイガ、斯様ナ事ハ所謂國民ノ自制ニ待ツノデアリマス、政治家、新聞記者、宗教家、教育家ノ如キ者ガ、青年團デアルトカ、在郷軍人團デアルトカ、會社デアルトカ、學校デアルトカ、各種ノ團體ニ實行ノ出來ルコトヲ指導シテ、國民ノ自制力ニ待タナク、政府ガ唯、一面訓令ヲサレル位デ迎モ行ク事デナイ、併ナガラ政府モ相當ナル方法ニ依ッテ直接間接ニ指導獎勵セラル、食糧品ノ轉換ヲ指導獎勵セラル、ト云フコトハ當然ノ事デアリマス、之ヲ約シテ申セバ、政府ハ植民地或ハ支那方面ニ向ケテ、所

謂技術ヲ資カトヲ以テ、今少シ當面ノ食糧不足ヲ補フベキ方法ヲ講ズルト云フ、御意見ガ有ルノデアリカ無イノデアリカ、此食糧品轉換ヲ指導獎勵スルニ付キマシテ、何等カ御考案ヲ持タレテ居ルノデアリカドウデアリカ、又所謂人口ノ處分問題ト云フ事ニ就キマシテハ、歐羅巴ノ此平和會議ニ於キマシテ、政府ハ如何ナル抱負ヲ以テ、其所信ヲ貫クト云フ御意見デアリマス、此三點ニ就テ明確ナル御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

〔拍手起ル〕

○伊東知也君 議長

○副議長(濱田國松君) 伊東君何デスカ

○伊東知也君 唯今私ガ調ベマシタガ、定足數ヲ缺イテ居リマス

○副議長(濱田國松君) 議長ハ定足數ニ達シテ居ルト思ヒマス

〔議事ガ無イカラ宜イト呼フ者アリ〕

○伊東知也君 休會ヲ願ヒマス

○副議長(濱田國松君) 質問第二、外交ニ關スル質問ハ、提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、質問第三、吉野川改修工事ニ關スル質問、高島兵吉君

三 吉野川改修工事ニ關スル質問(高島兵吉君提出)

吉野川改修工事ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月十日

提出者 高島 兵吉 賛成者 鈴木梅四郎

外三十二人

吉野川改修工事ニ關スル質問主意書

德島縣下吉野川ハ目下國庫支辨ヲ以テ改修工事中ナリト雖築堤工事粗略ニ失シ竣工建設ノ箇所ニ於テモ尙決潰ノ虞アリ此ノ際政府ハ慎重ニ該工事ヲ督勵シ以テ沿岸多數民ノ憂慮ヲ除去スルノ要アリト信ス政府ノ所見果シテ如何

右及質問候也

○伊東知也君 定足數ヲ缺イテ居リマス

○副議長(濱田國松君) 質問中ハ從來差支ナキ慣例デアリマス

○伊東知也君 慣例デアリマセス、定足數ヲ缺イテ居リマス

〔高島兵吉君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高島兵吉君 私共ハ吉野川改修工事ノ質問ヲ致シマ

ス、此吉野川改修工事ナルモノハ、國庫支辨トシテ明治四十二年ヨリ起工致シテ居タノデアリマス、今日デハ七八分通り竣工致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此改修工事ノ全體ヲ見ルト、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、其工事其ノモノガ甚ダ粗漏ニシテ、改修ノ效力ガ更ニ無イコトニ及ンデ居ルノデアリマス、抑、此河川改修ナルモノ、目的ハ何レニ在ルカト申セバ、即チ沿岸ノ一帯ノ地方ノ民ヲシテ、貴重ナル生命ヲ保護シ、尙又殖産興業ヲ促シ、運輸交通ノ便ヲ圖リ、有ユル此沿岸ニ對シテ進歩發達ヲ期待スベキ、大切ナル改修其ノモノ、目的デアアル、然ルニ改修其ノモノガ不完全ニ終ランカ、生命財產ヲ毀損シ、諸般ノ進歩發達ヲ阻害スルト云フコトニナルノデアリマス、地方ノ不幸不利益ナルノミナラズ、國家經濟上、多大ナル損失ヲ來ス譯ニナッテ來ルノデアリマス、從來此吉野川ハ四國三郎ト稱シテ、流域二十五里アリ、水力水勢ノ急ナルコトハ、大井川或ハ淀川ヲ凌駕スルダケノ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、故ニ改修ヲスルト云フニ當ッテハ、最モ大切ニ、而モ完全ニ終了シナケレバナラヌノデアアル、然ルニ此工事ノ大體ヲ見ルニ、大ニ粗漏極マリ、且ツ改修ニ對シテ不完全ナンデアル、河川改修ナルモノハ、浚渫ト同時ニ兩岸ニ於ケル此築堤ナルモノ、其築堤ナルモノガ而モ完全ニシテ、其兩岸ナルモノガ優劣ナク衡平の二併行シテ實施スルト云フノガ、是ガ所謂築堤工事其ノモノ、原則デアアル、斯ク運ビ行ケバ、改修中ニ於テ一朝出水ガアルトモ、稍、安全ニ防禦ノ出來ル方法デアアル、然ルニ此吉野川改修ノ築堤其ノモノ、工事ヲ見テ見ルニ、兩岸相併行シテ居ラス、兩岸ノ工事甚ダ不衡平デアアル、北岸ハ甚ダ薄弱デアッテ、南岸ガ完全ナンデアアル、是ガ即チ工事其ノモノ、第一歩ヲ誤ッテ居ルモノデアアル、北岸ノ如キハ向ホ之ニ對シテ、分派口ニ於ケル運河或ハ閘門ト云フモノモダ施設ニナッテ居ラス、然ルニ一方南岸ハ支流ニ對スル閘門モ出來、ソラ出水ト云フ場合ニハ、調節ノ出來ルタケノ餘裕ガ出來テ居ル、然ルニ北岸ハ用意ガ出來テ居ラス、殊ニ其北岸ノ如キ工事ニ對シテハ、護岸ニ於ケル堤脚一部ノミガ石巻ニ致シテ、上層ニ於ケル全部ハ固著力ナキ土砂ヲ以テ積上ゲテアルト云フヤウナ形デアアル、甚ダ微弱ナル築堤デアアル、昨年ノ秋水デサヘモ此護岸以上ニ浸水シタノデアアル、故ニ其上ニ於テハ崩壞スルシ、或ハ崩落スルシ、テ、昨年ノ如キハ殆ドモ決潰セントシタノデアッタガ、農民ガ生命ヲ犧牲ニシテ努力ノ結果、漸ク其決潰ノ危ヲ止メタト云フヤウナ、實ニ悲惨ナ運命ニ接シタノデアアル、危機一髪ヲ容レザル大危險ニ瀕シカケテ居タノデアアル、モウ少シ水源地ノ水ガ増加スルナラバ、到底決潰ノ運命ハ免レヌノデアアル、固ヨリ御承知ノ如ク此水ナルモノハ、抵抗力ノ薄弱ナル方

ヲ突破スルト云フノハ自然ノ道理デアル、若シ是ガ決潰シ
タナラバドウデアルカ、即チ北岸ニ於ケル十數萬ノ人口ト
數万町歩ノ立派ナル田畑ヲ控ヘテ居ル、是等ニ對シテ、大
大の慘劇ヲ來シ、苦境ニ陥ラシメルト云フコトハ免レヌノデ
アル、先ヅ斯ル次第デアル尙ホ上流ノ善入寺川附近ノ工
事ハドウデアルカト云フト、善入寺川ノ其附近ニ對シテハ、
上流下流共ニ幅五百間ニモ足ラヌノモ拘ラズ、順應上
其善入寺川附近ニ對シテ、一千間ニ幅ヲ擴メタルト云フヤウ
ナ始末ニナッテ居ル、而モ立派ナ良田ヲ以テ游水地トシテ
幅ヲ擴メタルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアル、是ハドウ
デアラウカ、斯クシナクテモ、兩岸ニ於テ相當ナル防備工事
ヲ施セバ結構ナモノデアル、洵ニ無用ナ事ヲ致シテ居ルノデ
ハナイカ、此立派ナル良田ヲ潰シテ、ソウシテ河川ノ結果ヲ
惡クスルト云フコトハ、甚ダ矛盾シク譯デアラウト思フ、即チ
此良田殆ド五百町歩ヲ犧牲ニシテ居ルノデアル、今日ノ如
ク食糧缺乏ノ問題、耕作補助政策ト云フコトハ、頗ル輿論
沸騰ノ際ニモ拘ラズ、此良田ヲ斯ク皆無ナラシムルト云フ
コトハ、所謂食糧ノ要素ヲ減殺スルノモ道理ハ、同じ事デア
ル、洵ニ時節柄大ニ矛盾シテ居ルト謂ハナケレバナラヌノデ
アル、是等ニ對シテモ大ニ問ハナケレバナラヌノデアル、要ス
ルニ此吉野川改修問題ノ、斯ノ如ク粗漏ナル點、斯ノ如ク
不完全ナル點ニ對シテ、之ヲ總括シテ申セバ、幅モ廣クナ
タハ、川數モ深クナタハ、築堤ガ高クナタハト云フ爲メニ、
水勢ヲ妨ゲルカト云フモノハ大ニナルノデアル、其大ニナル
ガ故ニ、若シ決潰スルトスレバ、改修以前ニ比シテ數倍ノ
害ヲ被ルコトモ、亦是レ道理ノ然ラシムル所デアル、斯ノ如
キ場合ニ立至ッテ居ルノデアル、誠ニ改修其ノモノ、效力ハ
更ニ無イ、是マデニ八百萬圓ノ起工費ヲ投ジテ、改修セザ
ル前ニ比シテ數倍ノ災害ヲ來スト云フコトハ、甚ダ怪ムベキ
話デアル、金ヲ入レテ却テ金ヲ入レザル——改修セザル前ニ
比シテ、數倍ノ災害ヲ來スト云フコトハ、甚ダ怪訝ニ堪ヘナ
イ、立憲治下ノ怪事ト謂ハナケレバナラヌノデアル、殊ニ今回
ハ又追加シテ即チ百三十九萬圓ノ改修費ガ見エテ居ル
ガ、吾々モ亦大ニ之ヲ協賛シナケレバナラヌガ、協賛スル同
時ニ而モ之ヲ有效ニ使フテ實ハナケレバナラヌ、有益ニ使用
シテ實ハナケレバナラヌノデアル、斯ノ如ク無用ニ使用スル
ヨリカ、大ニ有益ニ使用センナラヌト云フコトニ付テ、從來
ノ如キ不完全、粗漏ナル方法ヲ一變スル御意見デアルカ、
又從來ノ方法ヲ持續スル方針デアルカ、又是マデノ築堤ニ
對シテ、斯ク決潰ノ兆候ガ現レテ居ル處ニ對シテ、應急策
ヲ施スノ御意見ハ如何デアルカ、又閘門ノ經營設備ガ出
來テ居ラヌノニ對シテ、施設經營ナサルト云フコトニ對シテ
ハ、如何ナル御方針デアルカ、ドウシテモ本年ノ秋ノ出水マ

デニ、所謂雨降ラザルニ歸ルヲ細察シナケレバナラヌノデア
ル、是等ノ防禦ト云フモノハシナケレバナラヌノデアル、此等
ノ改修工事ヲ再改修スルカ、尙ホ此石卷ヲ全部ニ致シテ、
尙ホ堅固ニ致スカ、是等ニ對シテ大ニ吾々ハ聽カント欲ス
ルノデアリマス、從來斯ノ如ク改修工事ニ於テ百害百出致
シタル所以ノモノハ、官僚の屬僚政治ノ通弊トシテ、國利
民福ヲ口ニシテ、實際ニ行ハズ、實際ニ致サズ、唯、官僚的
机上ノ形式ニノミ拘泥スルヲ以テ、施設ノ方針ヲ以テ金科玉
條ト致シテ居ルノデアル、吾々ハ豫テヨリ此事ニ對シテハ指
摘シテ止マヌノデアル、今回ノ此吉野川改修問題ノ如キ
ハ、所謂官僚の屬僚政治ニ流レテ居ルト云フ活キタ手本
デアル、然ルニ現内閣ハ自ラ稱スラク、民意ヲ代表シ、民利
民福ヲ増進スルヲ以テ本旨トセラレテ居ルト、果シテ然ラバ
斯ノ如キ默スベカラザル所ノ失敗タルベキ方針、此工事ニ
對スル不完全、斯ノ如キ誤タ所ノ失敗ヲ直チニ改廢シテ、
愈、民意の本領ヲ發揮シテ實ヒタイモノデアル、願クハ現内
閣ニ於テハ、吉野川沿岸ノ民ヲシテ怨ナカラシメ、枕ヲ高ウ
シ安心スベキ程度ニ於テ、御親切ナル御答辯ヲ煩ハシタイ
ノデアリマス、是ダケヲ……

〔拍手起ル〕

○副議長(濱田國松君) 池田政府委員
〔伊東知也君「議長、議事ノ進行ニ就テ……ト呼
フ」〕

○副議長(濱田國松君) 政府委員ニ發言ヲ許シマシタ
〔政府委員池田宏君登壇〕

○政府委員(池田宏君) 唯今ノ御質問ニ對シマシテハ、
追テ書面ヲ持テ御答辯ヲ致シマス

〔伊東知也君「議長々々」ト呼フ〕

○副議長(濱田國松君) 質問第四、航空取締ニ關スル
質問、橫山勝太郎君

四 航空取締ニ關スル質問(橫山勝太郎君提出)
航空取締ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正八年二月十二日
提出者 橫山勝太郎 賛成者 小西 和
外三十二人

航空取締ニ關スル質問主意書
航空機關ノ發展ニ伴ヒ歐米各國ニ於テハ既ニ航空法ヲ
設定シ殊ニ國際飛行ニ關シテハ多大ノ注意ヲ拂ヒツツ
アリ今回ノ講和會議ニ於テモ米佛英伊ノ四大強國ハ航
空法案ニ就テ特ニ協議會ヲ開始シタルハ巴里電報ニ示

セルカ如シ然ルニ我カ日本ニ於テハ未タ航空法ニ關スル
規定ナキノミナラス巴里會議ニ參加セサル理由如何
我カ日本ニ航空法ノ規定ナキヲ奇貨トシテ昨年來外國
人ニシテ我カ國內ニ於テ無條件ニテ長距離飛行ヲ企圖
スル者アリ當局ニ於テハ果シテ斯ル行動ニ對シ絕對的
危險ナシト思惟スルヤ如何若國防上多少ノ危險ヲ慮ル
者アリトセハ斯ル場合ニ於テ如何ナル手段ヲ取ラムトス
ルヤ反之萬一國防上危險ナシトシテ默過シタル後不測
ノ事故ニ際會シタルトキハ當局ハ果シテ其ノ責ニ任スル
ヤ如何
右及質問候也

〔橫山勝太郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

〔伊東知也君「議長——議長——議長橫暴デハナイ
カ」議長公平」ト呼フ者アリ〕

〔伊東知也君「先例ニアリマセヌ」議長公平」ト呼フ
者アリ〕

〔伊東知也君「公平デハナイ不公平ダ先例ガ無い」ト
呼フ〕

○副議長(濱田國松君) 伊東君、靜肅ヲ望ミマス
〔伊東知也君「靜肅デハナイ」議事ノ進行ダ」ト呼フ〕

○橫山勝太郎君「航空法ノ制定ニ就テ、聊カ質問シテ置
キマス」伊東君何デス(伊東知也君「何ガ何ンダ」ト呼フ)
無禮ナ事ヲ仰シヤルナ(伊東知也君「トチガ無禮ダ」ト呼
フ)無禮デス……

○副議長(濱田國松君) 私ニ應答スルコトヲ許シマセヌ
○橫山勝太郎君 航空法ノ制定ニ就テ、極メテ簡單ニ當
局ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、既ニ海陸軍ニハ航空隊ガ
アリマス、ソレカラ民間ニハ帝國飛行協會ナルモノモアリマ
シテ、當代ノ名士ハ悉ク之ニ網羅セラレテアリマシテ、畏多
クモ久邇官邦王殿下ヲ總裁トシテ戴イテ居リマス、現ニ
昨年八月五日ニハ、五十萬圓ノ御下賜金ガアリマシテ、民
間カラモ約五十萬圓ノ寄附金ヲ集メテ居ルヤウナ次第デア
リマス、此帝國飛行協會ニ對シテハ、色々民間ニ議論ガア
リマスヤウデアリマスガ、是ハ併シ事實ノ真相ガ分リマセヌ、
當局ニ於キマシテハ、宜シク航空法ノ制定ニ關シテ、是ガ御
取締ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレニ就テ第一ニ質問シテ置
キタイノハ、新聞紙上ニ掲ゲラレテアリマス所ノ外國電報ノ
報ズル所ニ依レバ、既ニ巴里ニ於キマシテ、航空會議ナルモ
ノガ開催セラレタノデアリマスガ、其航空會議ニ對シテ、我
日本ノ使節ハ加入致シテ居ラヌト云フコトニ承テ居リマ
ス、是ハ將來ノ爲メニ由々數キ大事ト考ヘマサガ、何故ニ航
空會議ニ參加致シマセヌカ、其理由、竝ニ現今ニ於ケル航

空會議ノ經過、並ニ將來我國ハ、之ニ對シテ如何ナル態度ヲ執リマス、此數點ニ就テ承リタイノデアリマス、色々申上ゲタイ點モアリマス、今日ハ之ヲ省略シテ置キマス、ソレカラ第二ニ承リタイノハ、航空法ノ制定ニ關シテ至大ノ關係ヲ持ツ考ヘマス、領海並ニ領土ノ上空ハ自由ナリトノ原則ヲ認メマス、或ハ我國ノ領海我國ノ領土ノ上空ニ於テハ、我國ニ於テ空中主權ヲ持ツ居ルト云フ主義ヲ執ルカ、此根本義ニ就テ御説明ヲ煩シタイノデアリマス、學者ノ唱フル所ニ依レバ、航空ハ自由デアルト云フ説モアリマス、即チ航空ハ自由ニスルニ非ズンバ、人類ノ自由ノ行動ヲ妨グルト云ヒ、又或説ニ依レバ、空中ノ主權ヲ認ムルニ非ズンバ、領土權ノ本質ヲ完ウスルコトガ出來ナイト云フ、此兩説ガアリマス、此兩説ノ委シキ説明ハ私ヨリ之ヲ爲ス必要ハアリマス、若シ領土領海ノ上空ニ於テ絕對ノ自由デアルトノ原則ヲ認メマス、云フト、我日本ノ領土領海ノ上ヲ、他國ノ飛行機飛行船ガ通行致シテモ、之ヲ承認シナケレバナラス、若シ空中ノ主權ヲ認メルト云フコトニナリマス、他國ノ飛行機飛行船ニ對シテハ、何等カノ制限ヲ取ラネバナラスト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、傳フ所ニ依レバ、巴里ニ於テ航空會議ニ於テハ、絕對自由ノ說ヲ採ルト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、若シ果シテ眞ナリトスレバ、我日本帝國ニ取リマシテハ、由々敷キ大事デアルト考ヘマス、此點ニ就テ參照スベキモノハ、英國ノ飛行家「ヘンドレ」ベ「ジ」氏ハ、昨年十二月十三日ニ往訪ノ某新聞記者ニ語リテ申シマス、英國ニ於テ民間飛行家ノ飛行ニ關スル檢束ハ、近ク撤去セラレテアラウ、余ハ印度及更ニ東方マデノ乘客、並ニ貨物運搬用飛行ヲ始メントス、斯ウ云フ大膽ナル演說ヲ致シテ居リマス、即チ英國ニ於テ民間飛行ノ制限ト云フモノハ、悉ク撤去セラレカラス、余ハ印度其他ノ東洋方面ニ向テ、旅客並貨物ノ運送ヲ始メルト云フヤウナ希望ヲ述ベテ居ルノデアリマス、其次ニハ「マックエ」ヲ「將軍」便乗シタル所ハ、倫敦ヨリ印度ニ向フ所ノ「ハ」ン「モ」レー「ベ」氏操縦ノ飛行機、是ハ印度ニ行ク目的ヲ達セズシテ、伊太利ノ「ビザ」市ニ到著シタ、ソレハ天候不良ナル爲メデアデ、豫定ヨリハ少シ後レタノデアルト云フコトニナテ居リマス、十二月十九日倫敦發電報「ソレカラ英國ノ航空省ノ一官吏ノ語ル所ニ依レバ、緬甸、暹羅、スマトラ」其他ヲ經テ澳洲北方地方ニ至ル著陸地點ノ連絡系ヲ踏査ノ爲メニ、航空官吏二名印度ニ赴ケリ、巨大ナル「ハント」レイ「ベ」型飛行機ハ右組織完成ノ際ノ飛行ニ用意セラレベシ「ロイタル」一月一日倫敦發「斯ウ云フ意見モ述ベラレテアリマス、既ニ英國ノ航空省ニ於テハ、印度方面或ハ東

洋方面ニ飛行機ノ連絡ヲ取ル爲メニ、既ニ二名ノ官吏ヲ派遣シテ居ルト云フコトニナテ居リマス、ソレカラ米國ノ女流飛行家「一人ハ、大西洋橫斷ノ飛行ヲ企テ、居リマス、斯ノ如キ次第デアデ、今カラ數年前ニハ、浦潮斯德カラ日本ニ飛行機ガ來ルト云フヤウナ話ヲ承タ際ニ、殆ド之ニ耳ヲ傾ケル者ハ無カ、タノデアリマス、今日ニ於テハ大西洋ノ橫斷ヲ企テル者アリ、既ニ印度方面マデハ、旅客並貨物運送ヲ企ツルト云フヤウナ程度ニマデ、飛行機ハ進歩致シテ居ルノデアリマス、此時此際ニ當テ、我國ノ領土ノ上空領海ノ上空ヲ如何ニスベキヤト云フコトハ、直チニ考慮シテ置カナケレバナラス必要ナル點デアルト考ヘルノデアリマス、當局ノ意見ハ此點ニ就テ、如何ナルモノデアルト云フコトヲ承リタイノデアリマス、第三ニハ此海陸軍ノ國防上、飛行機飛行船ヲ如何ニ取扱ハントスルカト云フ點ニ就テ、質問ヲ致シタイノデアリマス、現行ノ法令ヲ見マス、明治三十二年ノ法律要塞地帶法ニ於キマシテ、其第七條三何人ト雖要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレバ要塞地帶内ノ水陸ノ形狀ヲ測量、攝影、模寫、錄取シ又ハ要塞地帶内ヲ航空スルコトヲ得ス「ソレカラ大正四年ノ法律第十七號ニ依リマシテ多少ノ改正ヲ加ヘマシテ、前項ノ規定ハ要塞地帶外ト雖第三區ノ境界線ヨリ外方三千五百間以內ノ區域ニ於テ之ヲ適用ス其第七條第二項ノ所謂第三區ト云フモノハ、基線ヨリ測リテ二千二百五十間以內ト云フコトニナテ居リマス、即チ大正四年法律第十七號ノ規定ニ依ル制限尺數ハ、合計五千七百五十間ト云フコトニ相成リマス、ソレカラ第三項ニ於テ「航空ノ許可ニ關シテハ要塞司令官ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ソレハ陸軍省令ト海軍省令トニ依テ規定サレテアリマス、斯ノ如キ次第デアデ、我國ニ於テ要塞地帶法ガ、航空ノ問題ニ關シテハ洵ニ貧弱ナル立法ヲ爲シテ居ルニ過ギマセヌ、其他關東州ノ防禦營造物地帶令、是ニモ要塞地帶法同様ノ規定ガアリマス、朝鮮ニモ僅ニ同様ノ規定ガアリマス、即チ飛行機ニ關シ、若クハ飛行船ニ關シテハ、我國ノ法令ニ於テ、全ク其規定ヲ缺イテ居ルトハ申シマセヌケレドモ、到底此日進歩ノ飛行機飛行船ニ關シテ、海陸軍ノ防備ヲ完ウスル爲メニ必要ト考ヘラレル所ノ法令ト云フモノハ、一モ無イノデアリマス、私ハ專門家デアリマセヌカラ詳シイ事ハ無論分リマセヌ、唯今申上ゲタ五千七百五十間ト云フ制限ガアリマシテモ、之ニ對シテ相當ナル立法ヲ爲スニ非ズンバ今飛ンデ居ル所ハ五千七百五十間以內デア、以外デアルト云フ事實問題ヲ起シマシタナラバ、其時分ニハ如何ニシテ之ヲ取締ルノデアリマス、唯、要塞地帶法ノ罰則ニ、一年以下ノ懲役ト罰金ト云フヤウナコトハ規定シテアリマスケレドモ、單ニ此罰則ノミニ依テ、重大

ナル陸海軍ノ國防上ノ事ノ目的ヲ達スルコト考ヘテ居ルト云フ事柄ハ、餘リニ大膽ニ失スルコト考ヘマス、要塞地帶以外ニ於キマシテモ、火藥庫モアリマス、又兵營モアリマス、其他砲兵工廠トカ、被服廠トカ、糧秣廠トカ、色々海陸軍ノ防備ニ必要ナル機關ガゴザイマス、此貴重ナル海陸軍ノ國防上ノ直接間接ノ機關タル物ノ上ヲ、飛行機トカ飛行船ト云フモノガ自由ニ飛ンデ歩クコトガ出來ルヤウニ現行法ハナテ居リマス、是ハ不備モ亦甚シト私ハ信ズル考デアリマス、此點ニ就テ如何ナル御考ヲ御持デアリマス、切ニ聽カントスル點デアリマス、ソレカラ第四點ニ於テ御尋致シタイ點ハ、唯今申上ゲマシタ要塞地帶法ノ規定ノ裏面ノ解釋ニ依レバ、要塞地帶法ノ第七號第一項及第二項ニ於テ制限シテアリマス以外ハ、日本ノ飛行機ハ勿論ノ事、外國ノ飛行機ト雖モ、飛行船ト雖モ、自由ニ飛ンデ歩クコトガ出來ルヤウニナテ居リマス、何トナレバ要塞地帶法ノ規定ハ、要塞地帶ノ上若クハ要塞地帶ノ附近ヲ航行スルコトヲ禁ジタルノミデアデ、其他ニ付テハ、何等ノ規定ヲ持ツテ居ラスノデアリマス、此禁令以外ノ場所ハ、自由ニ飛行機モ、飛行船モ、航空スルコトガ出來ルト云フ結論ニ至リハセヌカト考ヘマス、隨テ外國人並ニ內國人ニ對シテ屢々問題トシテ起テ居リマス點ハ、所謂長距離飛行ノ問題デアリマス、或ハ大阪ヨリ東京マデ郵便飛行ヲヤルトカ、或ハ東京カラ大阪マデ外國人ガ飛行スルコト云フヤウナ色々ノ問題ガ起テ居リマス、是等ニ關シテハ一モ取締法規ガ無イノデアリマス、現今ニ於テハドウシテ取締ニナテ居ルノデアリマス、吾國民トシテ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ點デアルトデアリマス、ソレカラ第五ニ御尋ヲシテ置キタイノハ、此土地所有權ト飛行機飛行船トノ關係、言葉ヲ換ヘテ申シマス、土地所有權ト上空ノ關係デアリマス、是ハドウ云フ工合ニ法律關係ガナルモノデアルト云フコトヲ御認ニナテ居リマス、陸海軍ノ大臣ニ於テ御答辯ガ出來ナイト云フコトデアリマスナラバ、司法大臣デモ結構デス、又內務大臣ト雖モ決シテ異存ハ言ハヌノデアリマス、民法ノ二百七條ノ規定ニ依レバ「土地ノ所有權ハ法令ノ制限内ニ於テ其土地ノ上下ニ及ブ」斯様ニ相成シテ居リマス、即チ日本國民ノ持テ居ル所有權ハ、法律或ハ行政命令ノ制限ノ範圍内ニ於テ、土地ノ上下ニ及ブ、此上下ト云フ範圍ハ甚ダ問題デアリマス、上ハ何所マデ行クカ、下ハ何所マデ行クカ、學者ノ間ニ於テモ議論ノアルヤウニ考ヘテ居リマス、而シテ此民法二百七條ハ、土地ノ所有權ニ關シテ、法令ノ制限内ニ於テ自由ト云フコトヲ認メテ居リマス、法令ノ規定ヲ案ズルノミ、鑛業法ノ規定ニ於テ、地下ノ鑛物ハ國家ニ屬スルコト云フ規定ガアリマス、又狩獵法ニ於テ、空中ヲ飛翔スル鳥類ノ狩獵ヲ許可シ、

又地上ヲ走ル獸類ノ狩獵ヲ許可致シテ居リマスカラシテ、此狩獵法ノ制限ノ範圍ニ於テハ、此所有權ノ制限ヲ受ケテ居ルコトハ明瞭デアリマス、又電氣事業法ノ規定ニ依リマスルト、其第十條ニ、電氣事業者ハ必要アルトキハ現在ノ使用法ヲ妨ケサル限度ニ於テ、他人ノ地上ノ空間若クハ地中ニ電線路ヲ施設スルコトヲ得ト、斯ウ云フ規定ガアリマスガ、此規定以外ニ、日本國民ノ持シテ居ル所有權ノ制限シタル法律モ命令モ無イト考ヘテ居リマス、サウスル此民間ノ飛行機、飛行船ハ勿論ノ事、國家ノ所有ニ屬スル飛行機、飛行船ト雖モ、限リ二個人ノ土地ノ上空ヲ航空スルト云フ事柄ハ、憲法ニ依テ保障セラレテ居ル所ノ、土地所有權ノ侵害ニナルト私ハ考ヘテ居リマス、此故ニ海軍省ノ飛行船トカ、或ハ陸軍省ノ飛行隊ト云フモノガ、帝都ノ上空其他村落ノ上空ヲ自由自在ニ翔廻シテ居リマスガ、是ハ法令上ノ根據ト云フモノハ全ク無イデアリマス、是ハ如何ナル根據ニ於テ、吾々國民ノ上空ヲ自由自在ニ飛歩イテ居ルノデアリマスガ、此法令上ノ根據ヲ承リタイノデアリマス、之ニ關シテモ、至急ニ航空法ヲ制定スル必要ガアルト云フコトハ勿論デアルト考ヘマス、第六ニ特ニ御尋シタイ點ハ、一般航空法制定ノ必要ト云フコトノ根據ニ就テ、特ニ内務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイムデアリマスガ、理當ヲ一切止シマシテ、事實タケテ申上デテ置カウト考ヘマス、此飛行機飛行船ノ進歩發達ニ付テ、個人ノ生命財產ト云フモノハ、非常ナル危險ニ類シテ居リマス、其事例ノ數點ヲ舉ゲマス、飛行機ニ依テ殺害セラレタル事例ハ、大正四年十一月二十一日ニ、陸軍ノ航空隊附荒瀨中尉ハ、東北演習ノ際、青森縣南津輕郡五鄉村角田周助三女ヲ推進機ニ懸ケテ殺戮シ、外一人ノ重傷者ヲ出シマシタ、二二同年四月十三日、靜岡縣東松浦郡愛知村ニ於テ、民間飛行家吉森音吉ハ、同村飯田鶴乃ニ衝突シテ之ヲ死亡セシメマシタ、三八大正五年六月三日、追濱海軍航空隊附井上大尉ハ、神奈川縣金澤村ノ漁夫神明長次郎ノ頭部ニ重傷ヲ負ハシメ、之ヲ死亡セシメマシタ、四二大正五年六月十日、宮崎縣都城ニ於テ、民間飛行家澤某ハ飛行中群衆中ニ墜落シ、即死者二人、負傷者四人、氣絶者一人ヲ出シマシタ、五二、大正六年九月九日、民間飛行家立石關二ハ、岐阜縣大垣市ニ於テ飛行中、群衆中ニ墜落、即死二人、負傷者數名ヲ出シマシタ、ソレカラ財產ニ對スル危險ノ點モ一二申上デテ、内務大臣ノ御參考ニ供シマスガ、大正三年七月十九日、廣島市練兵場ニ於テ、民間飛行家坂本壽一ハ、飛行ノ際附近ノ人家ノ屋上ニ墜落シ、財產上多大ノ損害ヲ與ヘマシタ、二六、大正五年三月八日海軍航空隊阿部中尉ハ、帝都訪問飛行ノ際、東京芝區明舟町陸軍將官ノ町田氏

ノ邸宅ノ上ニ墜落シテ、非常ノ損害ヲ與ヘテ、同乗者ト共ニ慘死シマシタ、第三ニ、大正七年四月、日ハ分リマセズ、名古屋市中ニ於テ陸軍航空隊附伊庭中尉ハ、徳川大尉ト共ニ同乗飛行中、同市ノ人家屋上ニ墜落シ、非常ノ損害ヲ與ヘマシタ、其他大正六年五月六日、民間飛行家玉井清太郎ト云フ人ハ、帝都訪問飛行中、芝浦埋立地ニ墜落シ、火災ヲ起シ慘死致シマシタ、是ガ若シ市中ニ落テタラバ、一大慘事ヲ惹起シタコト、存ジマス、斯ノ如キ次第デアデ、私ガ調査致シマシタ所ニ依リマシテモ、吾々ノ生命財產ニ對シテ、飛行機ト云フモノガ如何ナル危險ヲ與ヘテ居ルカト云フ事柄ハ、一端ヲ知ルコトガ出來ルノデアリマス、此三四ノ事例ヲ見テモ、亦以テ航空法ヲ制定シテ、飛行機飛行船ノ獎勵ヲ爲スト同時ニ、國民ノ財產、國民ノ生命ヲ保護スル必要ガアルト考ヘマス、昔ハ地震雷火事ト云フモノガ一番怖イト云ウテ居リマシタガ、現今ニ於テハソレ以外ニ、飛行機ノ如キ非常ナル威力ヲ有スル破壞力ヲ有スル所ノ文明ノ利器ガ、吾々國民ニ對シテ非常ナル危害ヲ與ヘルト云フ上カラ、餘程政府當局ニ於テ、御考ガナケレバナラヌ點デアルト考ヘマス、殊ニ内國ノ問題ハ姑ク措クトシマシテ、外國トノ交渉デス、即チ外國飛行機飛行船ト云フヤウナモノガ、航空自由原則ニ依テ、我々帝國内ノ領土領海ノ上空ヲ飛行スルト云フヤウナコトガアッテハ、國防上ニ於キマシテモ、多大ナル危險ヲ感ズルノデアリマス、此數點ニ關シテ如何ナル御考慮ヲ御持デアリマスガ、詳細ナル御答辯ヲ御願マスル次第デアリマス

○副議長(濱田國松君) 質問第五、市町村吏員優遇ニ關スル質問、荒川五郎君

五 市町村吏員優遇ニ關スル質問(荒川五郎君提出)

市町村吏員優遇ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正八年二月十四日
提出者荒川 五郎 賛成者井原 百介
外百七人

市町村吏員優遇ニ關スル質問主意書
市町村吏員ハ國ノ基礎タル自治中樞ノ最必要機關ニシテ其ノ執ルトコロノ事務ハ教育産業衛生徵稅土木兵事戶籍統計等其ノ大部分ハ國及府縣ノ行政ニシテ國家ノ上ヨリ見ルモ亦極メテ必要ノ公務員タルハ多言ヲ要セス
隨テ其ノ適良ノ人物ヲ得ルハ最緊切ノコトニシテ之ヲ優遇獎勵スルノ途ヲ開クハ目下ノ急トスル所ナルニ拘ラス

未タ其ノ實現ヲ見サルハ自治ノ發達振興ヲ圖ル上ニ於テ將タ國運ノ進展隆昌ヲ期スル上ニ於テ頗ル遺憾ノコトタリ
仍テ本員等ハ第四十回議會ニ於テ市町村吏員優遇ノ建議案ヲ提出シタルニ其ノ特別委員會ニ於テ當時當局大臣ハ大體其ノ趣旨ヲ容レ考慮實行セムトノ說答アリタリ
然ルニ本年ノ紀元節ニ於テ只全國九十餘町村長ニ對シ一級昇勳アリシノミニシテ最多年勤績者ノ極メテ小範圍ニ止リ且助役以下ノ吏員ハ其ノ恩典ニ與カラス此ノ如キハ決シテ其ノ目的ヲ達スル所以ニ非サルナリ
政府ハ他ニ講究計劃スルトコロ無キカ
右及質問候也

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 諸君、市町村吏員優遇ニ關スル質問ノ趣意ヲ簡單ニ申上デマス、私ハ昨年ノ議會ニ市町村吏員優遇ニ關スル建議案ヲ提出致シマシタル時ニ、某委員會ニ於テ、時ノ當局大臣ハ市町村吏員ノ待遇ヲ善クシテ、之ニ適材ヲ得、且ツ長ク其職ニ安ンゼシムルヤウニシタイト云フコトハ、政府モ氣ニ掛ケテ居ル所デ、其方法ニ就テハ最モ慎重ニ考慮ヲ費シツ、アルガ、今日マデ行テ居ル所ヲ言ヘバ、市町村吏員ノ爲メニ、市町村ニ對シテ退隱料、退職給與金等ノ條例ヲ設ケルヤウニ勸誘ヲ致シ、又長ク市町村長、助役等ノ職ニ在リテ、公共ノ事務ニ勤勉致シ、功勞ノ顯著ナル者ニ對シテハ、褒章條例ニ依ッテ之ヲ表彰シ、又其功勞成績ガ優良デアルモ、未ダ褒章條例ニ依レル表彰スルニ至ラザルモノニ付テハ、明治四十二年以來内務大臣ニ於テ之ヲ選奨シ、以テ一般ニ獎勵ニ努メテ居ル、併シ尙ホ其他ノ優遇法ニ關シテハ、考究シテ實行ニ努メルト云フコトデアリマシタ、其後昨年政府ニ於テ、此件ニ關シテ特ニ考究セラレテ居ルヤウニ新聞紙上ニチラホラ見ヘテ居リ、殊ニ現内閣ニナッテカラ、市町村長等優遇ニ關シ、政府ハ何カ施設スル所ガアルト云フ聲モ高マリ、次デ紀元ノ佳節ニ方ッテ、是ガ實現スル由デアルト云フコトガ傳ヘラレテ居リマシタカラ、私共竊ニ期待シテ居タノデアリマス、紀元節ハ來マシタ、果シテ全國ノ市町村長ニ敍勳ノ恩典ガアリマシタ、ソレヲ見マスルノニ、全國一万三千ノ市町村長ノ中デ、僅ニ九十五名然モ二十八年以上勤績デ、二十八年以上勤績ト云フ極メテ永キ勤績者、謂ハ、殆下市町村制實施以來引續イテノ勤績者バカリニ、此恩典ガアッテデアリマス、此中二ハ市長ハ全國二一人モアリマセヌ、又町村長モ一人モ無イ府縣ガ段々アルデアリマス、甚ダ意外ニ感ジ、且ツ失望致シタノデ、仍テ已ムナク爰ニ質問ヲ提出致シタ次第デアリマ

ス、諸君、市町村ノ事務ハ今更申上ゲルマデモアリマセス、自治ハ一ノ小國家トモ申スベク、國家ノ事務ハ皆ナ市町村ニ於テモ、同じク同種ノ事務ヲ有シテ居リマス、教育、土木、稅務、衛生、兵事、戶籍、統計等、中ニ煩雜デ、凡テノ法令ヲ習慣等ヲ諸シズルコトヲ要スルニミテハナク、其事務ノ中デモ、市町村固有ノ事務ハ僅ニ其一部分ニ止テ、大部分ハ悉ク皆ナ國府縣ノ事務デアリマス、故ニ其名ハ自治ノ吏員ト云フモ、其實執ル所ノ事務ハ、國家ノ官吏ト更ニ異ル所ハナイノミナラズ、唯、國府縣ノ事務ノ中デ無イト云フノハ警察事務ガ無イ位デアリマス、他ハ悉ク關係ガ有ル、新ニ一ノ法令ガ出マスルト云フト、直チニ市町村ニ一ノ事務ガ増シテ來マス、彼ノ先年行ハレタ行政整理ノ如キデモ、行政ヲ整理シテ簡易ニスルニ非ズシテ、官廳ノ事務ヲ押集メテ、之ヲ市町村ヘ持込ムト云フ結果ヲ來シ、年々歲々其事務ハ増シテ來ルバカリデアリマス、此度行ハレル國勢調査ノ如キニシマシテモ、主ナルモノハ市町村長ガヤランケレバナラス、市町村ガ實ニ其主ナル事務ヲ執リマスルノデ、此類ノ新事業、新國務ハ、續々トシテ年々加ハリ來ルデアリマス、斯ウ云フ場合ニ官廳デハ特別ノ課ヲ設ケマスルケレドモ、市町村ハ皆ナ之ヲ一手ニ引受ケナケレバナライ、隨テ是等ノ舊イ法、新シイ命令ハ悉ク之ヲ能ク知悉シ、習熟ヲ要スル上ニ、市町村ノ事情、内情、人民ノ程度、貧富等モ悉ク知抜イテ居ラナケレバナライ、上級官廳ト人民トノ間ニ在テ、官廳カラハ壓サレ、人民カラハ又色々我儘ヲ言ハレテ、其面倒デアリ煩雜デアルコトハ、他ノ官廳ト決シテ同日ノ論デアリマセス、隨テ之ニ適當ナル人ヲ得ルコトハ實ニ容易デナイ、其事務ヲ執ル爲メニ其人物ヲ要スルコトハ、國家府縣ト寸毫モ異ル所ハアリマセス、否ナヨリ以上ニ其人物ヲ要スルノデアル、デ其六ヶ敷イ町村長以下三役ノ者ガ、四年改選ノ法トナッテ居リマスカラ、別シテ其人ヲ得テ、長ク其職ニ安シズルト云フコトハ六ヶ敷イノデアリマス、併シ自治其ノモノガ既ニ永久デアル以上ハ、均シク永久繼續ノ力ヲ要シ、其適材ヲ得ルヲ要スルコトハ、勿論申スマデモナイノデアリマス、然ルニ諸君、官吏ハ唯、一局部ノ事務ヲ執レバ、ソレデ先ツ誰デモ出來ルデアアル、勿論官吏モ其人物ヲ要シ、適材ヲ要スルコトハ申スマデモアリマセス、凡庸ノ人デモ官吏ハ務マル、凡庸デモ年限ガ經テバ、位階モ授ケラレシ、敍勳ニモナルガ、市町村長ノ如キハ中々サウハ行キマセス、況ヤ今日競争ノ激シイ時ニ二度モ三度モ引續イテ當選ヲ致シ、此難儀ナ面倒ナ中ヲ切抜ケルト云フコトハ、隨分人材デ、又誠實デ、我が一身ヲ捧ゲテ努力スル人デナケレバ、到底出來ナイノデアリマス、然ルニ官吏ハ十五年モ經テバ敍勳トナル、市町村長ハ二十八年——三十

年モ勳績勵精シテ、唯、僅ニ勳六等ト云フコトハ、實ニ比較ニナラヌ話デアリマセス、私ノ考デハ、市町村長ニモ既ニ勳績ノ年限デ恩典ニ算スル以上ハ、官吏ヨリハ却テ其年限ヲ短クスルノガ相當デハナイカト思フデアリマス、ガ一體此法律トカ官制等ハ、上ノ人ニ非常ニ厚ク、下ノ者ニハ極メテ薄イデアリマス、婦人ノ作タ法律ガ無イカラ、婦人ニ酷デ男子ノ寛ダト云フコトモアリマス、失張ノ同ジク官制等モ上級ノ官吏ガ作タモノデアリマス、上級ノ官吏ニハ手厚ク出來テ居リマスルケレドモ、下級ノ者ニハ極メテ薄イデアリマス、殊ニ唯、官吏ト云フ名前ガ無イノミデ、官吏ト同ジヤウナ事務ニ執掌シナガラ、其者ニハ大ナル等差ヲ設ケ、差別ヲ立テ、居ル例ヘバ教員、又此自治ノ吏員ト云フヤウナ者ハ、全ク別物ニ取扱ハレテ居ルト云フコトハ、全體根本ノ考ガ違フト思ヒマス、是故ニ地方制度布カレテ三十年、豫期シタル自治ノ發達ハ一向ニ見ルコトガ出來ナイノミナラズ、其事務ハ地方到ル處滯留シテ、自然自治ノ活動モ出來ナイ、隨テ其爲メニ國務モ進歩發展シナイト云フヤウナ有様デアルト私ハ思フ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、國運ノ進歩隆盛ノ上ニモ、自治ノ振興發達ノ上ニモ、市町村吏員ノ優遇、獎勵ト云フコトハ、極メテ大切、且ツ必要ナ事ト思フデアリマス、政府ハ退職料ヲ退職給與金ノ條例ヲ設ケルコトヲ勸誘シテ居ルト云フデアリマス、是ハ自治自ラガ定メル仕事デ、政府ノ法令デ定メナイ以上ハ、自治ノ吏員トシテハ聊カ手盛ノ嫌モアリマス、殊ニ此經費膨脹困難ノ時ニ於テハ、中々ソレガ實際ニ行ハレ難イデアリマス、勿論全國ノ中ニハ、退職料條例、或ハ遺族扶助法ト云フヤウナ例規ヲ自治設ケテ居ル處ガアリマス、アリマスケレドモ、多クハ死文空法デアリマシテ、實際ニ於テ其恩典ニ與ル者ハ、殆ド無イノガ今日ノ實況デアリマス、又政府ハ褒章條例ノ適用ト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、是ハ市町村吏員ニ特ニ限ラズ、モノハナイノデ、一般ノ人ニ對スル名譽ノ恩典デアリマスカラ、之ヲ以テ必ズシモ市町村吏員ノ優遇トシテ、特ニ優ニ舉ゲルコトハ出來マセス、先年以來既ニ市町村長ニモ勳勳ノ途ヲ開カレタ以上ハ、少クトモ普通官吏ト同様ニ、勳勳並ニ勳位ノ制モ立テ、其他特別ノ表彰方法モ講ジ、又物質ノ上ニモ出來得ル優遇ノ途ヲ開キ、以テ適當ノ人物ヲ得、其事務ニ習熟練達シテ自治ノ發達ヲ圖リ、國家ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルト云フコトハ、實ニ大切ナ事ト思フデアリマス、政府ハ紀元節ニ、僅カ九十五名ノ町村長ニ一級陸階セラレタノガアツタノミデアリマス、唯、之ニ止マルノカ、他ニ計畫セラル、所ガアルノカ、ソレガ承リタイ、私ハ敍位勳勳等ノ名譽ノ恩典ハ、是非少ナクトモ官吏ト同様ノ取扱方ニセラレタイト思ヒマス、敍位條例

ヤ敍勳法ニ於テモ、決シテ之ヲ官吏トカ華族トカ云フ者ニ限ツテハナイデアリマス、其文面ヲ見マスルニ、國家ニ勳功アル者又ハ表彰スベキ功績アル者云々ト規定シテアリマス、ソレニ依ルコトハ決シテ差支ナイバカリデアリマセス、既ニ實業家ヤ或ハ多額ノ金ヲ政府ニ獻納シタト云フヤウナ者ニモ、敍位勳勳ノ實例ハ少ナクナイノデアリマス、速ニ地方自治ノ吏員ニ此優遇ヲ及ボシテ、之ヲ獎勵スルノ途ヲ講ゼラレタイ、尙ホ私ガ一案ト致シマシテ、市町村吏員恩給基金法デス、市町村吏員恩給基金法ト云フガ如キモノヲ設ケテ、ソレニハ地方費又ハ市町村カラモ多少ノ納付金モサセテモ宜シイガ、大部分ヲ國庫カラ補助シテ、茲ニ此基金ヲ造テ、サウシテ相當資格有ル者ニ、給與スルト云フ事ニセラレ、コトモ宜イト思フデアリマス、茲ニ聊カ希望ヲモ併セテ、政府ノ計畫ヲ御質問致ス次第デアリマス

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 緊急事件ノ上程並ニ審議ノ都合上、爾餘ノ質問ハ全部延會ノ動議ヲ提出致シマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ質問第六、質問第七ハ延會ニ決シマシタ、日程第一、私立學校用地免租ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス

第一 私立學校用地免租ニ關スル法律案(政府提出)

第一條 左ニ掲クルモノ、用ニ供スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

一 私立ノ幼稚園、小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、高等學校及大學

二 前號ニ掲ケサル私立學校ニシテ大藏大臣ニ於テ指定シタルモノ

第二條 前條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ハ校舍及寄宿舎、圖書館其ノ他保育又ハ教育上必要ナル附屬建物ノ敷地並運動場、實習用地其ノ他直接ニ保育又ハ教育ノ用ニ供スルモノニ限ル但シ收益ヲ生スル土地ニ付テハ大藏大臣ハ免租スヘキ區域ヲ制限スルコトヲ得

第三條 北海道府縣市區町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ免租セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

附則

本法ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣男爵高橋是清君 議長

○副議長(濱田國松君) 高橋大藏大臣

〔國務大臣男爵高橋是清君登壇〕

〔拍手起ル〕

○國務大臣男爵高橋是清君 私立學校用地免租ニ關スル法律案デゴザイマス、教育振興ニ關シマシテハ、私立學校ヲモ保護獎勵致シマシテ、其健全ナル發達ヲ圖ルノ必要ガアルノデゴザイマス、仍テ其教育上必要ナル用地ニ對シマシテ、地租ヲ免除致シ、以テ私立學校ノ發達ヲ圖ルベキ趣旨ヲ以テ、此法案ヲ提出致シタル次第デゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望致シマス

○副議長(濱田國松君) 此場合質疑ヲ許可致シマス、樋口秀雄君

○樋口秀雄君 極メテ簡單デアリマスカラ、此席上デ申シマス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス

○樋口秀雄君 教育ノ振興ニ關シマシテハ、豫テ吾々カラ質問ヲ致シマシタ當時ニ、中橋文部大臣ハ、私立學校ノ件ニ言及致シマス、是モ考慮中デアリカラシテ、必ズ何等カノ案ヲ出スト云フ御答辯デアッタ、又政友會ノ諸君ニ於ケレマシテモ、教育振興ヲ以テ一大政策ニ數ヘラレテ居ル極メテ重大ナル案デアリ、吾々ノ出シマシタ教育振興案ハ、政府ノ考慮中ナル故ヲ以テ、即決セラレタモノニ外ナラヌモノト信ジテ居タ、然ラバ私立學校ニ對シマシテ如何ナル御名案ガアルカ、考慮中ノ考慮中カラ生出タ最初ノ案ハ、高等諸學校ノ増設デアリマス、假令早急ノ政策ニセヨ何ニセヨ、免ニ角大キナ案ヲ提出ニナシテ、私立學校ニ對シテモ亦多大ノ恩澤ノアルモノト期待致シマシタ所ガ、思ヒキヤ今回御提出ニナリマシタ案ハ、僅ニ前三回繼續致シマシテ衆議院ヲ通過致シマシタ建議、私立學校用地免租ニ關スル法律案ヲ出サレマシタニ過キナイ、泰山鳴動シテ鼠一匹ノ感ガアル、言責ヲ重セラル、中橋文相ト致シマシテ、此議會ノ開期尙ホ三週間ヲ餘シテ居リマスカラ、定メテ此以外ニ御提案ガアルト思ヒマスガ、果シテ私學優待ニ對シテ、何等カノ御提案ガアルノデアルカ、唯、是切リデ——一ニッデ以テ、教育振興私學獎勵ト云フコトニ打切ニナルノデアルカト云フコトヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイ、第二ハ此法律ノ其第一條ニ於キマシテ、納稅義務者ノ申請ト云フコトガアリマス、所ガ政府ノ當局者ハ、果シテ私學ノ狀態ヲ御承知デアルカ否ヤ、私立大學杯ニ於キマシテハ、多クハ自ラ其校舍トシテ用井マス宅地ト云フモノヲ所有シテ居ル、即チ納稅義務者ガ、自己ノ負擔減少ノ爲メニ之ヲ申請スルノデアリマスガ、ソレ以外ノ學校ニ至リマス、多クハ借地デアリマス、借地デアリマスルカラシテ、若シ私學獎勵ノ意味デアリマスレバ、其土地ノ使用人ノ申請ニ依ッテ、免除スベキガ當然ドラウト思ヒマスガ、假リニ神田邊ノ或慈張リタル地主ノ如キ者ガ、自分ガ納稅義務者デアアルガ爲メニ、自分ノ用地ハ免除シテ貰フ、附加稅ヲ免除シテ貰フ、サウシテ私立學校ニ舊通りノ地代デ貸スト云フコトニナッタ時ハ、何人ガ利益ヲ受ケマスカ、何所ニ私立獎勵ノ意味ガアリマスカ、更ニ解サレナイ、何ガ故ニ此用地申請ト云フコトニ爲サラナカッタノデアルカ、併シ但書ガアル通り、借地人タル私學ニ此恩典ヲ與ヘヌナラバ、此案ハ私學ノ獎勵デハナイ、私立學校ノ土地ノ所有者ニ對シテ恩典ヲ加ヘル、ドウモ私學獎勵ト云フ事ノ意味ヲ見出スコトガ出來ヌノデアリマスガ、之ニ對スル御考如何、此二點ノ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣中橋德五郎君登壇〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 唯今ノ樋口サンノ御質問ニ御答ヲ致シマス、私學獎勵ト云フコトニ付キマシテ本案ヲ提出シタハ、泰山鳴動鼠一匹ト云フ御話デアリマシタガ、是デケデハ稍、其感ガアリマセウ、マダ考ヘテ居ル積リデアリマス、併シ餘ス所三週間位シテ御話ノ通りアリマセヌ此議會ニ向ッテ、追加豫算ヲ出スト云フヤウナ計畫ハ持ッテ居リマセヌ、又私學ノ獎勵ハ、必ズヤ三週間ヤ一月、二月ノ問題デアリマセヌ、大體ニ考ヘナケレバナラヌト思ウテ居リマス、ドウカ其點ハ左様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ私學ガ借地ヲシテ居リマス場合、其所有者ニ免除シタツテ、効ガ無いデナイカト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ免除シナイ積リデアリマス、無料デ借地シテ居ル學校ニハ免除シマスクレドモ、有料デヤツテ居ルモノニハ、免除シナイ方法ニナツテ居リマスカラ、其點ハ尙ホ委シク御承知ニナリタケレバ、大藏ノ當局者カラ御返事ヲ致シマス、私カラ御返事ヲ致シテモ宜シウゴザイマス、大體デケ……

○樋口秀雄君 ソレデ十分デアリマス

○副議長(濱田國松君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ、動議ノ如ク

本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第三耕地整理法中改正法律案、政府提出第一讀會
山本農商務大臣

第三 耕地整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

耕地整理法中左ノ通改正ス

第一條第三號ヲ第四號トシ「前二號」ヲ「前三號」ニ改メ左ノ一號ヲ加フ

三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設

第五條中「消滅シタルトキハ」ノ下ニ「帝室及國ヲ除クノ外」ヲ加フ

第九條中「登記所」ノ下ニ「漁業ニ關スル登錄官廳」ヲ加ヘ「耕地整理組合ノ組合長、組合副長」ヲ「耕地整理組合ハ耕地整理組合聯合會ノ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長」ニ改ム

第二十五條中「訴訟ノ目的タリ又ハ整理施行地區ニ編入後訴訟ノ目的ト爲リタル爲」ヲ「訴訟ノ目的タル爲」ニ改ム

第二十五條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業權カ登錄シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ

第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

登錄シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十七條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業權存スル場合ニ於テハ漁業權者ニ對シ、漁業權及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業權者及入漁權者ニ對シ整理施行ニ依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業權者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス

整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ著手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ、第二十五條ノ二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ

前二項ニ同シ

臣 何レモ承諾ヲ承ムル件ヲ請是レ至ミテ高橋大藏大

超過及豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノデアリマス、以上ハ何

レモ緊急避クベカラザル事項ト認メテ、是ガ支出ヲ爲シタルモノデアリマス、慎重審議ノ上、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ御願致シマス

○副議長(濱田國松君) 日程第六、本案 審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ、岩崎君ノ動議ノ如ク十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○第七、精神病院法案、政府提出第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ望ミマス——金杉英五郎君

第七 精神病院法案(政府提出)

〔醫學博士金杉英五郎君登壇〕

○醫學博士金杉英五郎君 昨ハ唯今議題ト相成リマシタル、精神病院法案委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ報告致シマス、右案ハ甚ダ緊要ナル案デアルト云フコトデ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、唯、茲ニ一言申上ゲ置キタキ事ハ、精神病院法ハ、事人權ヲ拘束スルコト云フコトヲ頗ル顧慮シナケレバナラヌト云フ、委員諸君ノ御議論ガ澤山出マシタ、政府當局者トモ質問應答ヲ重ネテ、尙ホ慎重ニ審議致シマシテ、總テノ疑惑モ氷解致シテ美シク、經過致シマシタヤウナ次第デアリマス、尙ホ横山、高木兩委員カラ、此事ニ就テハ附帶條件ヲ希望スルコト云フヤウナコト出マシタ、ソレハ第一檢事並ニ府縣市町村吏員、府縣市參事會員ハ臨時精神病院ニ出張シテ現狀ヲ觀察シ人權保護ノ實ヲ完クセラレンコトヲ望ム、第二從來面會、差入、通信其他精神病者ノ取扱ニ關シ往々不滿ヲ訴フルモノアリ當局ハ常ニ是ガ監視ニ努メラレタシト云フ希望條件ヲ出サレマシタガ、是ハ決議ニ依ラズシテ、希望ノ趣ヲ政府當局ニ申達致スト云フコトニ致シマシテ、折合ガ若キマシヤウナ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

〔拍手起ル〕

○副議長(濱田國松君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス、二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 議長

○副議長(濱田國松君) 岩崎君

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

精神病院法案(政府提出) 第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第八、大正七年法律第二十四號中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長ガ不在ナラバ理事ノ八田君ヨリ御報告ヲ求メマス

〔委員長ハ居ラレマスト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 委員長中川幸太郎君

第八 大正七年法律第二十四號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔中川幸太郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○中川幸太郎君 過日御付託ニナリマシタ大正七年法律第二十四號中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ハ學制ノ改正ニ伴ヒマシタル所ノ、一年志願兵ニ關スル徵兵令ノ改正デアリマシテ、御承知ノ如ク極メテ簡單ナ案デアリマス、委員會ハ前後三回開キマシテ、慎重審議ノ上、全會一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シマシタ、ドウカ本會ニ於キマシテモ、速ニ可決アラントヲ希望致シマス、此段御報告申上ゲマス

〔拍手起ル〕

○副議長(濱田國松君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス、二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 議長

○副議長(濱田國松君) 岩崎君

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

大正七年法律第二十四號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○岩崎勳君 議長

○副議長(濱田國松君) 岩崎君

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關シ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ地方鐵道法案、輕便鐵道補助法中改正法律案、鐵道抵當法中改正法律案、鐵道船舶郵便法中改正法律案、鐵道營業法中改正法律案、以上五案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、一括シテ委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ、地方鐵道法案以下四案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開クコトニ決シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、戸水寛人君

地方鐵道法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

輕便鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔拍手起ル〕

○法學博士戸水寛人君 地方鐵道法案外四件ニ就テ、委員會ノ經過及決議ヲ報告致シマス、先ヅ地方鐵道法案

ニ就テ申シマスガ、鐵道ニ關シテハ、御存ジノ通り私設鐵道法モアリ、輕便鐵道法モアル、然ル所明治三十九年ニ於テ鐵道國有法ガ出マシテカラ、私設鐵道法ガ殆ド其ノ效力ヲ失シテシマウノデアル、輕便鐵道ノ方ハ依然トシテ實地應用セラレテ居リマスケレドモ、此條文ガ極メテ簡單デアル、私設鐵道法ノ規則ノ中デ、輕便鐵道ニ準用セラレテ居ルモノアリマスケレドモ、ソレニモ拘ラズ輕便鐵道法ノ規則ガ極メテ簡單デアル、且ツ不完全デアル、ソコデ此法律ヲ改正スルノ目的ヲ以テ、私設鐵道法ト輕便鐵道法トニツテ廢シテシマフ、其代リニ地方鐵道法案ヲ政府カラ提出シタノデアリマス、委員會ニ於テハ色々審議致シマシテ、二ツノ修正動議ガ出マシタノデアリマス、即チ第三十條ト第三十四條デアリマス、第三十條ノ第二項ヲ設ケマシテ「地方鐵道ノ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ該線路及其附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得」斯ウ云フ修正ガアリマス、次ノ第三十四條ニ「買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得」前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ルル斯ウ云フデゴザイマス、此修正說ニ就テ政府ノ意見ヲ求メマシタ所ガ、是ニハ同意デアルト云フノデゴザイマス、委員會ニ於テハ、全會一致ヲ以テ此修正動議ヲ可決致シマシタ、ソレカラ其次ノ輕便鐵道補助法中改正法律案、其次ノ鐵道抵當法中改正法律案、鐵道船舶郵便法中改正法律案、鐵道營業法中改正法律案、此四案ハ原案ノ通り可決致シマシタノデアリマス、此外ニマダ軌道條例ナルモノガアルノハ、固ヨリ御存ジデゴザイマスガ、是モ甚ダ不完全デアアルガ、併ナガラ道路法ガマダ議決ニナツテ居ラヌモノデアアルカラ、本年ニ於テハ、其軌道條例ノ改正案ト云フモノヲ政府ノ方カラ出スコトガ出来ナイ、多分次ノ議會ニ於テ、是ハ提出スルト云フコトデアリマシタ、是モ併セテ御報告致シマス、大要ハ斯ノ如シデアリマス

〔拍手起ル〕
○副議長(濱田國松君) 各案ハ各、別々ニ採決ヲ致シマス、先ヅ第一ニ地方鐵道法案ヨリ採決致シマス、地方鐵道法案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 二讀會ヲ開クコトニ決シマス
○岩崎勳君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、直チニ二讀會ヲ開キマス
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ニ第二、輕便鐵道補助法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

地方鐵道法案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ニ第二、輕便鐵道補助法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道營業法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、日程第九、利息制限法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス
第九 利息制限法中改正法律案(赤尾彦作君提出)
第一讀會(續委員長報告)
〔赤尾彦作君登壇〕
〔拍手起ル〕
○赤尾彦作君 利息制限法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ開會ヲ致シマスルコトガ前後三回デアリマシテ、其間委員諸君ト政府委員トノ間ニ於キマシテハ、微ヨリ細ニ入リトモ稱シテ宜イ程、綿密丁寧ナル質問應答ヲ重ネマシテ、其結果政府ニ於キマシテモ、本改正案ニ對シマシテハ、賛成ノ意ヲ表スルト云フコトノ意思表示ガアリマシタ、又委員會ニ於キマシテハ、全會一致ヲ以テマシテ可決ト云フコトニ定リマシタ、此段御報告申上ゲマス、ソレト同時ニ委員會ノ開會中ニ種々ナル重要問題ガ起リマシテ、研究ヲ遂ゲマシタ、其一二ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、利息制限法ナルモノハ、契約自由ノ原則カラ見マスレバ、寧ろ之ヲ全部廢止シマシテ、當事者ノ自由ニ委セル方ガ宜クハナイカト云フ意見モアリマシタ、ソレガ研究問題ノ一ツデアリマシタガ、併ナガラ現時ノ我國ノ狀態ニ於キマシテ、利息制限法ヲ全部廢止致シマシタ場合ニハ、道義心ノ缺ケテ店ル金貸等ガソレニ附込ミマシテ、非常に高率ナル利息ヲ貪ル虞ガアリマス同時ニ社會ノ秩序ヲ紊亂スル虞モアルト云フ理由デ、其問題ハ自然ニ消滅ヲ致

省略シ、委員長報告通り確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道營業法中改正法律案ヲ採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道營業法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、日程第九、利息制限法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス
第九 利息制限法中改正法律案(赤尾彦作君提出)
第一讀會(續委員長報告)
〔赤尾彦作君登壇〕
〔拍手起ル〕
○赤尾彦作君 利息制限法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ開會ヲ致シマスルコトガ前後三回デアリマシテ、其間委員諸君ト政府委員トノ間ニ於キマシテハ、微ヨリ細ニ入リトモ稱シテ宜イ程、綿密丁寧ナル質問應答ヲ重ネマシテ、其結果政府ニ於キマシテモ、本改正案ニ對シマシテハ、賛成ノ意ヲ表スルト云フコトノ意思表示ガアリマシタ、又委員會ニ於キマシテハ、全會一致ヲ以テマシテ可決ト云フコトニ定リマシタ、此段御報告申上ゲマス、ソレト同時ニ委員會ノ開會中ニ種々ナル重要問題ガ起リマシテ、研究ヲ遂ゲマシタ、其一二ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、利息制限法ナルモノハ、契約自由ノ原則カラ見マスレバ、寧ろ之ヲ全部廢止シマシテ、當事者ノ自由ニ委セル方ガ宜クハナイカト云フ意見モアリマシタ、ソレガ研究問題ノ一ツデアリマシタガ、併ナガラ現時ノ我國ノ狀態ニ於キマシテ、利息制限法ヲ全部廢止致シマシタ場合ニハ、道義心ノ缺ケテ店ル金貸等ガソレニ附込ミマシテ、非常に高率ナル利息ヲ貪ル虞ガアリマス同時ニ社會ノ秩序ヲ紊亂スル虞モアルト云フ理由デ、其問題ハ自然ニ消滅ヲ致

○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道船舶郵便法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道船舶郵便法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道船舶郵便法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道船舶郵便法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道船舶郵便法中改正法律案ヲ採決致シマス
○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ハ鐵道抵當法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○岩崎勳君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(濱田國松君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

シマシタ、又今一ツハ利息制限法ノ法律ノ趣意ヲ徹底的ニ之ヲ實行致シマスルニハ、禮金デアルトカ、又ハ暴利デアルトカ云フヤウナ名義ヲ以テマシテ、借主ト貸主トノ間ニ受授ヲ致シマシタ、其ノモノ、取戻ヲ許サユウ法律ヲ制定致シタナラバ如何デアラウト云フ事モ、研究問題ノ一ツニナリマシタガ、是モ種々研究ヲ遂ゲマシタ所ガ、若シ斯ノ如キ法律ヲ制定致シマスルニハ、信用モ乏シク、又擔保物モ有セナイ者ガ金策ヲ講ズル場合ニ方テ、甚シイ不便ヲ感ズル、其結果金融ノ途ヲ塞グ虞ガアリハシナイカト云フ理由ノ下ニ、徹底の二取戻ヲ許スト云フ法律制定ノ意見モ、自カラ消滅ヲ致シマシテ、遂ニ全會一致ヲ以テマシタ、可決致シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ申上ゲマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 本案ハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

○岩崎勳君 二讀會ヲ開クニ異議ナシ

○副議長(濱田國松君) 二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 直チニ本案ハ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開キマス

利息制限法中改正法律案(赤尾彦作君提出)

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ヲ省略シテ、本案ハ可決確定サレマシタ、日程第十、未成年者飲酒取締法案ノ二讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、工藤卓爾君

第十 未成年者飲酒取締法案(根本正君外三名提出)

〔工藤卓爾君登壇〕

〔拍手起ル〕

○工藤卓爾君 未成年者飲酒取締法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ノ爲メニ委員會ヲ開キマシタコトハ三回、回数ノ上ヨリ見マスルト云フト、寧ろ少ナイ方デゴザイマスガ、併シ本案ハ今日ノ場合ニ於テ、最も必要デアルト云フ所ノ點ヨリシテ、委員諸君ニ於キマシテハ、政府當局者ニ向ヒマシテ、熱心ナル質問ヲ試ミタノデゴザイマス、今其主ナルモノ點ヲ二三申上ゲマスト云フト、委員諸君ニ於キマシテハ、本案ハ年々衆議院ヲ通過致シマスルケレドモ、貴族院ヲ通過セザルノハ甚ダ遺憾トスル所デア

ル、而シテ其原因ハ固ヨリ一ニシテ足ラズデアリマスルケレドモ、政府ガ本案ニ對スル所ノ態度如何ニ依ルノデアル、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスルハ、政府當局者ガ、本案ニ對スル所ノ誠意ヲ、缺イテ居ルカノ如ク見受ケラル、ノデアル、故ニ本年ニ於キマシテハ、政府ハ本案ニ對シテ如何ナル意見ヲ懷イテ居ルカト云フコトヲ問ハレマシタルニ對シマシテ、政府委員ノ答ヘマスルニハ、本案ハ從來ノ案トハ違ヒマシテ、頗ル完全ニ出來テ居ル、即チ昨年マデノ本案ハ、酒類ヲ販賣スル者ヲ罰スルダケニ止マテ居リマシタルケレドモ、本年ハ飲酒スル者ヲ取締ルコトヲ云フ點ニ在リテ居ルノデアラ、頗ル完全ニ出來テ居ル、故ニ本案ノ如クデアリマスルナラバ、政府ハ無論之ヲ賛成スルモノデアルト云フコトヲ答ヘラレタノデゴザイマス、之ニ對シマシテ重ネテ問フ發シマシテ、其様ニ政府ハ本案ノ必要ヲ認メルナラバ、何故ニ政府ヨリ本案ヲ提出シナイノデアルカ、貴族院ノ様子ヲ見マスルノニ、議員ヨリ提出スル案ト、政府ヨリ提出スル案トノ間ニ於テ、若干ノ差違ガアルヤウニ見受ケラル、即チ政府ヨリ提出シマシタル所ノ案ニ向ヒマシテハ、多ク賛成スル傾ガアルケレドモ、議員ヨリ提出シタル所ノ案ニ向ヒマシテハ、左程ノ注意ヲ拂ハザルガ如クニ見受ケラル、ノデアリマス、故ニ政府ガ本案ニ賛成ナラバ、何故ニ本年政府ヨリ本案ヲ提出シナイノデアルカト云フコトヲ反問致シタイノデゴザイマシタ、之ニ對シマシテ、政府ハ本案ニハ無論賛成デアラ、提出ヲスベキデア

○副議長(濱田國松君) 賛成演說ノ通告ガアリマス、高見之通君

〔高見之通登壇〕

〔拍手起ル〕

○高見之通君 諸君、私ハ此本案ニ就キマシテハ、衷心ヨリ賛成ヲ表スル一人デアリマス、理由ニ三點ヲ開陳致シマシテ、諸君ノ清聴ヲ煩シタイト思ヒマス、第一ニ本案ハ最も現代ノ時勢ニ適合シテ居ル案デアルト信ジマス、此本案ガ一度成立シテ法律トナリマシタナラバ、國ノ信用ヲ高メルデアラウト信ジマス、元來此我ガ日本ノ國ニ對シテハ種々ノ批評ガゴザイマスルガ、要スルニ日本ハ、國內ノ充實ニ向テ全カフ振テ居リマス、又對外的ノ發展ヲシテ居ル時ニハ、國內ノ力大切ナモノヲ犧牲ニ供スルコトモ、意圖シナイ、一方ニ傾ク弊ガアル、併シ幸ヒ過去三十年ノ間、日本ハ對外發展ノ爲メニ多大ノ努力ヲ致シマシタガ、幾多ノ困難ニ際會シマシテ、多大ノ成功ヲ博シ、其結果日本ハ五大列強ノ一ニマデ進付タノデアリマス、去リナガラ一度歐洲大戰ガ結末ヲ見マスルト云フト、對外的ノ外交問題、若クハ國防ニ關スル問題ハ、幾許カ粗略ニサレ、ノ傾ガアリ、而シテ國內ノ充實ヲ圖ルコトヲ云フ點ニ向テ、總テノ注意ガ集中サレテ居ルヤウナ傾ガアリマス、第四十一議會ニ於キマシテモ、或ハ選舉法ノ問題ノ如キ、食糧調節ニ關スル問題ノ如キ、又ハ教育ニ關スル問題ノ如キ、其一例デアルト思ヘラマス、故ニ吾ニ政治ニ志ス者ハ、苟モ其問題ガ國內ノ充實ニ大ニ資スルモノデアラ、相當國ノ信用ヲ對外ノ發展ニハ資スル傾ガアルナラバ、直チニ採テ以テ之ヲ利用シナクテハハラスルと思フノデアリマス、諸君、現在ハ少クモ禁酒ト云フコトハ、歐洲戰爭ガ開カレテ以來、特ニ一ツノ風潮デアルト所謂大勢デアルト思ハレルトデアリマス、此大勢ガ斯ノ如キ狀態デアルノニ、若シ日本ハ未成年者ノ禁酒案ダケノ克己心ヲ奮フコトガ出來ナイトシタナラバ、現ニ全國ノ禁酒ヲヤテ居ル米國其他ノ有力ナル識者カラ、未ダ日本ハ克己自制ニ目ガ醒メナイ國デアルト嗤ハレタラウト思ヒマス(拍手スル者アリ)若夫レ此案ノ採用シテ、法律トシテ成立タナラバ、寔ニ日本ハ對外的ニ於テ多大ノ成功ヲ博シテ居ルノミナラズ、國內ニ於テ克己自制ト云フコトニモ進ンダ考ヲシテ來タ、目ガ開イテ來タト云フ、一種ノ日本ノ國ノ對外的ノ何ヲスルニモ便利ヲ得ルト云フ國ノ信用ヲ揚ゲルト私ハ信スルノデアリマス、是ガ私ノ本案ヲ、特ニ法律トシテ成立サセタイト云フ第一點デアリマス、第二點ハ、此本案ハ、貴族院杯ニ於テ議論トナテ居ルノハ、取締ガ困難デアル、ソレ故ニ此法ノ威力ト云フモノガ無クナルノデアル、故ニ之ヲ法トスルコトハ困難デアルト云フ議論ハ、屢唱ヘラル、ノデアリマス、併シ法ハ必ズシモ形式的ノ威力ノミヲ尊ブ譯ニハ往キマセヌ、現代ノ學說ハ段々變化シマシテ、形式的ノ威力ノ外ニ、實質的ノ效力其モノヲ尊ブヤウニナテ來タノデアリマス、然ラバ實質上ノ效力ト云フモノハ、此未成年者禁酒法ニ於テハドウ云フ工合ニ解釋スベキカ、即チ未成年者禁酒法案ニ關スル國

民ノ了解如何ニアルト私ハ思フノデアリマス、私ハ日本ノ一般國民ハ此法案ヲ能ク了解スルコトガ出來ル可能ナリヲ持テ居ル信ズルデアリマス、日本ノ國ガ建國以來種々ノ外來ノ宗教及思想、或ハ主義ガ移入サレテ來タノデアリマス、而シテ日本ノ國ノ根本ノ基礎ハ少シモ動搖シテ居ナイト云フハ、何ニ基カト云ヘバ、日本國民ノ一種ノ特性ト云フモノガ然ラシムル所以デアルト私ハ考ヘマス、日本國民ノ特性ト云フモノハ何デアリカ、例ヘバ彼ノ儒教ノ中ニモ書經ノ如キ我が日本ノ國ニハ適セヌ所ガアリマス、儒教ヲ採テ、尊キ部分ヲ吾々ノ風俗習慣教化ノ最大ノ手本トシテ居ルデアリマス、之ヲ佛教ニ見マシテモ、亦耶穌教ニ見マシテモ、斯様ニ信ズルデアリマス、其總テノ主義總テノ宗教ニハ、其國ノ風俗ト適セヌモノガアリマス、而シテ日本ハ一度其風儀ニ會シ、一日其宗教ニ出會タナラバ、其長所ヲ取其短所ヲ捨テ、益、日本ノ文化ニ資スルコト云フ日本國民ノ特性ガアルト私ハ思ヒマス、最近ニ於キマシテモ日本ハ軍國主義ト資本主義ト云フ二大潮流ノ上ニ立タノデアリ、去リナガラ日本ハ軍國主義ノ本尊デアリマシタ、彼ノ獨逸ニ、一切ノ軍制ヲ真似テ居リマシタ、而シテモ、而モ日本ハ彼等ノ本尊タル主義ノ奧ニ隱シタル所ノ領土擴張主義ト云フモノハ、嘗テ日本ハ真似タコトハナカダナアル、劍ヲ取テ屢々立テテモ、總テハ東洋ノ平和ト云フコトヲ基礎ニシ中心ニシテ來タノデアリマス、今ヤ軍國主義ハ倒レテ、民主主義及資本主義トノ間ニ日本ガ立テ居ルト同ジコトデアルト私ハ信ジマス、斯様ニシテ日本ハ外來ノ思潮ノ短ヲ捨テ長ヲ取ルト云フ特質ヲ持テ居ルデアリマス、此未成年者ノ問題ニ付キマシテモ、此日本國民ノ假ニ之ヲ對外ノ外來ノ思想ナリト致シマシテモ、尙ホ其最モ良キ所ヲ取リ最モ惡イ所ヲ捨テタコト云フ日本國民ノ特性ガ、能ク此法案ヲ咀嚼シ味シ、此法トシテ十分ノ實際ノ上ノ價值ヲ擧ゲルコトヲ得ルト信ジマス(拍手起ル)ソレ故過般政府委員ノ答辯ノ中ニ於キマシテ、川村警保局長ハ言ハレニハ、假ニ此法律ガ未成年者法ガ成立タラニ於テモ、例ヘバ嘗ムルガ如クヤル所ノ結婚式ノ益ノ如キ、其場合ニマデ此法ヲ取締ルト云フホドノ考ヘ持テ居ラヌ、斯様ニ明言サレテ居リマス、法ノ威力ヲ徹底シタルコト云フコトデアリマシタナラバ、其點マデ進マナリマシケレドモ、日本ノ國ノ政治ノ局ニ當ル者ガ又此法律ノ下ニ服從シテ行ク者モ、此法律ヲ實質ノ二解釋スルタメノ國民ノ力ハ上下共ニアルト私ハ信ズルデアリマス、必ズシモ未成年者ノ禁酒法デアリカト云フテ、此法ヲ以テ提燈翳シテ暗闇ヲ捜スガ如クスルコトハアリマセヌ、床ニ懸ケタル鏡ノ如ク各人ガ其處ニ向テ威儀ヲ正シテ梳ルト云フ一種ノ時代道德ノ鏡トシテモ、私ハ此法ノ價值ガアルト信ズルデアリマス(拍手起リ)ヒヤヒヤト呼フ者アリ(第三ハ、先程委員長カラモ御話ガアリマシタガ、具體的ノ事例ヲ提テ此法律ノ特ニ今日必要ナル事ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、現代ノ中學ノ學生ハ

約十五万人居リマス、之ニ相如ク所ノ商業學校ノ生徒ハ三万五千、詰マリ二十万ノ今日中學程度ノ學生ガアリマス、是ハ日本ノ將來ヲ雙肩ニ擔ヒテ立ツベキ學生デアリ、之ニ對シテ酒ニ關スル文部省ノ方針ハドウカト申シマス、云フト明治四十二年ニ文部省ノ訓令ガ出テ居ルデアリマス、其訓令ノ意味ハ酒ハ兎ニ角學生ニ飲マセムベキモノデハナイ、去リナガラ學校ニ於テ酒ヲ飲ムト云フコトハ殆ド無イガ、家庭ニ於テ酒ヲ飲ムハ、酒ヲ飲ムカラ、一般ニ此酒ニ關シテハ家庭ト學校ト相俟テ、此實績ヲ擧ゲルヤウニト云フ訓令ガ一ツ出テ居ルノデアリマス、併シ私ハ今家庭ノ話ヲ此處ニ持出スコトヲ必要ト致シマセヌ、現ニ今日各中學ニハ、ラス(會)ト云フ級ノ會モアリマス、又卒業生ノ送別會ト云フモノモアル、地方ヘ参リマス、ト云フ各郡々々カラ學生ガ出テ居リマス、郡ノ同鄉會ト云フヤウナモノアリ、色々ナ會ガアルデアリマス、此會ハ時ニハ學校ノ講堂内ニ於テ茶話會ヲ以テ終ルコトモアリマス、又時ニハ何處カノ料理屋デ酒ヲ飲ムト云フコトモアリマス、澤山ノ學生ガ集リマス、ソレ其處ノ女中許リデハ辨ジマセヌカラ、藝妓杯ヲ呼シ、ソレ漸次酒ニ親シデ行クト云フコトモアリマス、所ガ今日中學校ノ事ニ關スル所ノ一般ノ監督ハ、御存ジノ通り一切各府縣ニ委セテアリマス、其ノ府縣ノ監督ノ理事者ノ考ニ依テ酒ヲ飲ムベカラズト云フ考ヲ立テ人モアレバ、寛大ニ取扱フ宜シト云フ人モアリ、少シハ飲ンデモ宜イト云フ考ノ理事者モアルデアリマス、何ガ故ニ文部省ハ之ヲ統一シナイノデアリカト云フ、ドウモ今日中學校ハ各府縣デヤレテ居ルノデアリマス、文部省ノ一個ノ意見ニモ行兼ネルト云フデアリ、ソコ甲中學校ハ酒ヲ許シ、乙中學校ハ酒ヲ許サヌ、又甲ノ校長ハ之ヲ許シ、乙ノ校長ハ之ヲ許サヌト云フコトガ、而シテ尙ホ此問題ニ付テ可笑シイ事ノ出テ來ルト云フハ、中學時代ニ於テ全然酒ヲ飲マセナイノデ、ソレガ高等學校ヘ入テ酒ヲ少シ飲ムト云フヤウナ工合ニ、年ガ取ルト段々酒ニ親ムト云フコトデアレバ宜イケレドモ、中學校ハ各府縣デ監督シテ居リマス、故ニ、中學校デハ或者ハ飲、或者ハ校長ト一緒ニ送別會デヤル、此風儀ヲ受テサウシテ文部省ノ直轄ヲ受テ居ル所ノ高等學校ヘ入學スルノデアリマス、サウスルト或ル高等學校ノ校長ノ如キハ、高等學校カラ大學ヘ入テ漸次酒ヲ飲ミ習フコトハ、マダ宜イケレドモ、中學ニ於テ飲ンデ居テ、高等學校ニ入テ飲ミナイト來マス、一旦付ケタ所ノ風儀ノ習慣ハ、容易ニ學校校長ノ制止ダケデハイカヌノデアリマス、サウシマス、ト下宿屋デモ飲ムコトガ出來テモ、學校デハ無論出來ナイ、有ユル會デ飲ムコトガ出來ナイ、其惡風ハ密ニ密ニヤルト云フコトナリ、其爲メニ折角高等學校ノ二三ノ校長ガ特ニ嚴重ノ方法デヤレテモ、結局ハソレガ却テ惡イト云フコトガ屢々アリマス、現ニ其等ノ實例ハ私共幾ツモ知ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ如何ニモ矛盾ナ、如何ニモ可笑シナ詰マリ結果ト云フモノガ何ガ故カト云フト、總テ統一ガ今

日不可能デアラカデアリマス、若シ之ニ未成年者禁酒ガ一度法律トシテ成立タナラバ、如何ナル府縣デモ、如何ナル學校校長デモ、總テニ於テ總テ一ニナルデアリマス、之ヲ此儘ニシテ置キマス、今申上ゲマシタ通り、如何ニモ矛盾ガアリ、如何ニモ不統一ノ爲メニ、學校ノ風儀ト云フモノガ非常ニ益々紊レテ來ルト云フコトハ、吾々ハ憂フルノミナラズ、實ニ今申上ゲタ状態ニナルデアリマス、ソレ故過般委員會ニ於キマシテハ、文部省ノ當局ノ人ハ、此法律ガ是非成立ツコトヲ希望スル、若シ此法律ガ成立タト致シマスレバ、文部省ニ於テモ相當ノ訓令ヲ出シ、此法ノ實行ガ十分二行届タウニシタイモノデアルト云フ、文部省ノ熱烈ナル希望及贊成モアリマシタ、一方ニ於テ此法案ガ世界の今申上ゲタ國力ノ信用ノ上ニ多大ノ意味ヲ爲シ、又國民ハ實質的ニ此法案ヲ上下ヲ通ジテ咀嚼味シテ、實質的ノ效力ヲ發揮セシムル價值アルノミナラズ、現實極ク研究狀態ノ上ニ立テ、教育上ノ諸般ノ取締ヲ統一スベキ必要ナル標準トシテ、價值ノ上カラ見マシテモ、此法案ハ一刻モ速ニ世ノ中ニ有效ナラシムルコトヲ私ハ特ニ諸君ニ申上ゲテ、御贊同アラント云フ幾重ニモ懇請スル次第デアリマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 本案第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

○前田米藏君(二讀會ヲ開クコトニ異議アリマセヌ)

○副議長(濱田國松君) 二讀會ヲ開クニ異議アリマセヌカ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○前田米藏君 直チニ本案二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 前田君ノ動議ノ通り御異議アリマセヌカ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

未成年者飲酒取締法案(根本正君外三名提出) 第二讀會(確定議)

○副議長(濱田國松君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ヲ省略シテ、本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、日程第十一、第十二、第十三ハ、同一委員ニ付託シテ議案デアリマス、一括シテ議題ト爲スコトニ御異議アリマセヌカ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ日程第十一、四國循環鐵道建設ニ關スル建議案、第十二、四國循環鐵道建設ニ關スル建議案、第十三、四國鐵道循環敷設ニ關スル建議案、此三案ヲ一括シテ議題ト致シマス

第十一

四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案
(委員長報告)
案(小西和君外一名提出)

第十二

四國循環鐵道建設ニ關スル建議案
(委員長報告)
(林毅陸君外四名提出)

第十三

四國鐵道循環線敷設ニ關スル建議案
(委員長報告)
(高島兵吉君外一名提出)

○副議長(濱田國松君) 委員長ノ報告ヲ求メマス、林毅陸君

(拍手起ル)

(林毅陸君登壇)

○林毅陸君 此三ツノ建議案ハ、大體趣旨ヲ同ジウスルモノデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ、武市彰一君ノ發議ニ基キマシテ、林其他四名ヨリ提出致シマシタ案ヲ土臺ト致シテ、此三ツノ案ヲ一ツニ纏メルヤウニ修正案ヲ作ッタ宜カラウト云フコトニナリマシテ、小委員會ニ於テ修正案ヲ作り、唯今茲ニ御報告致シタヤウナ形ト致シタノデアリマス、故ニ香川縣下高松市ヨリ白鳥本町及ビ德島縣撫養町ヲ經テ德島市ニ至ル線、愛媛縣下松山市ヨリ大洲町ヲ經テ宇和島町ニ至ル線、德島縣下小松島町ヨリ日和佐町及牟岐町ヲ經テ高知縣下後免町ニ至ル線、高知縣下須崎町ヨリ中村町ヲ經テ愛媛縣下宇和島町ニ到ル線、此四線ヲ新クニ建設致シマシテ、既設ノ鐵道茲ニ既定ノ鐵道ト相俟テ、四國ノ循環鐵道ヲ完成スルコトハ甚ダ必要デアルガ故ニ、政府ハ其四線ノ緩急ヲ圖ツテ、速ニ適當ノ案ヲ確立シ、大正九年度ヨリ順次建設ニ著手セラレンコトヲ望ム、斯ウ云フノデゴザイマス、此四國循環鐵道ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ政府ノ委員ト質問應答ヲ重ネタノデアリマス、政府ニ於キマシテモ、大ニ此提出者ノ希望メテ同感ヲ表セラレマシテ、政府ニ於テモ其必要ヲ十分認メテ居ル、又政府ニ於テモ、成ベタ早ク著手シタイト云フ考ヲ持テ居ル、斯ウ云フコトヲ言明セラレテ居ルデアリマス、既ニ政府モ大體サウ云フ御賛成デアリマス以上ハ、此建議ノ趣旨ノ徹底ハ必ズ期シテ待テ得ルト思フノデアリマス、大體四國ニハ唯今現在ニ於キマシテ、既設線及既定線ヲ併セテ、約二百五十五哩ノ線路ガアルデアリマス、先日本議場ヲ通過致シマシタ琴平、池田ヲ經テ山田ニ至リマス線是レナゾヲ含メ、マシテ二百五十五哩ニナル、今新ニ循環線ヲ造ルト致シマス、今茲ニ建議案ニ於テ含マレテ居リマス線路ヲ合シマス、ソレガ丁度二百九十八哩八分ニナルノデアリマス、約三百哩デアリマス、是ダケノ線路ヲ造リマスレバ、非常ニ四國ノ産業開發上、其他色々ノ點ニ於キマシ

テ有益ナルノデゴザイマス、政府委員モ他ノ地方ニ於ケル鐵道ト比較シテ見マスレバ、四國ニ於テ約三百哩位ノ鐵道ガ出來テ、サウシテ此循環ノ目ヲ完ウスルヤウニナルト云フコトハ、甚ダ無理ノ註文デナイ、斯ウ云フ大ニ同情ヲ表サレテ居ル程デアリマス、又各線ノ部分ニ就キマシテ御參考ノ爲メニ申上ゲテ置キマス、高松ヨリ志度ヨリ德島ニ至ル鐵道ガ政府ノ調ニ依リマス、鐵道純益ガ三厘三厘六毛、小松島ヨリ後免ニ至ル間ノ其鐵道純益ガ六厘八毛、松山ヨリ高知縣須崎ノ線ヲ一ツニ纏メテ見マスルト一朱、又鐵道利用者ノ利益、是ハ大變重要ノ箇條デアリマス、鐵道利用者ノ利益ガ德島、志度間ニ於テ二割三分、小松島、後免間ニ於テハ四厘二厘、松山、須崎間ガ七厘九厘、又資本ニ對スル收益ヲ見マスルト、德島、志度間ガ二割六分五厘、小松島、後免間ガ四厘七厘、松山、須崎間ガ九厘、斯ウ云フコトニナリテ居ル、但シ是ハ明治四十五年頃ノ調査デアルカラ、多少今日ニ於テハ數字ガ犯ラアラウケレドモ、大體ニ於テ之ニ依テ了解ガ出來ルト云フ、政府委員ノ說明デアタノデアリマス、勿論此中愛媛縣ノ松山ヨリ宇和島ニ至ルト云フ部分ニ、大ニ必要デモアルシ、又有利ナル線デアリマシテ、之ヲ一括シテ松山ヨリ高知縣須崎ニ至ルモノトシテ割出サレタ算盤カラ見マスルト云フ、實ハ松山ヨリ宇和島ニ至ル部分ガ、甚ダ不利益ナル算盤ニナリテ居ルデアリマス、是ハ勿論認メテ置カネバナラヌ事ト思ヒマス、大體サウ云フ割合デ利益ノ有リマス線デアリマシテ、政府ニ於テモ成ベク早ク著手シタイト云フ考ヲ持テ居ルデアリマス、委員ノ間ニ於キマシテハ、無論何レノ線ヲ先ニシ後ニスルト云フコトハ、強テ言フ譯デハナイ、唯、大體ノ希望ト致シテハ高松、德島間ハ地理上經濟上ヨリ、成ベク先ニ著手シテ御賞申シタイモノデアルト云フ、斯ウ云フ事ハ委員諸君ノ間ニ於テ一致セル意見デアッタト云フコトヲ、私ハ爰ニ報告シテ差支ナイト思フデアリマス、サウ云フ次第デゴザイマスカラ、願クバ諸君ニ於カレマシテモ、直チニ御賛同下サレマシテ、此建議案ノ末文ニアリマス、通リ、大正九年度ヨリ順次著手サレヤウニ致シタイト思フデアリマス、勿論成ベク多クノ場處ニ於キマシテ、著手ノ出來ルコトヲ望ムノデアリマス、極メテ穩當ナル一穩健ナル建議案デアアルデアリマス、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 日程第十一乃至第十三ニ至ル三案ヲ併合シテ一案ト爲シ、委員長報告通リ即チ委員會ノ修正議決ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ岩崎君ノ動議ノ如ク日程第十一、第十二、第十三ハ委員長報告通リ、即チ委員會ニ於テ修正通リ本建議ヲ採用スルコトニ可決シマス、日程第十四、野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案、委員長ノ報告ヲ求メマス、戶符權之助君

第十四 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外六名提出) (委員長報告)

(戶符權之助君登壇)

(拍手起ル)

○戶符權之助君 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案ハ、委員會ヲ三四回開キマシテ、而シテ本建議案ハ、四十議會ニ於キマシテモ滿場一致ヲ以テ、本會決定致シタ問題デアリマス、尙ホ必要ナル線路デアリマス、政府ニ向テ第一ニ政府ノ所信ヲ聽クト云フノガ、委員一同ノ希望デアッタノデアリマス、所ガ政府ニ於キマシテハ、本線路ハ二十五六十年頃カラ、今市若クハ會津地方ノ有志諸君ガ、非常ナ熱誠ナル希望ノ線路デアッテ、又刻下有益ナル線路デアルソレガ故ニ財政ノ許ス限リ、一日モ早く著手スルト云フ、政府ノ答辯ヲ確得タノデアリマス、吾々委員モ其政府ノ答辯ニハ一同満足致シマシタ、但シ此線路ニ付キマシテハ田村君カラ、今市此線路ヲ止メテハ甚ダ遺憾デアルカラ、鹿沼、栃木ヲ經テ古河ニ至ルコトニシタイト云フ意見ガアリマシタ、又高田君カラハ、今市ヲ起點トシナイデ氏家邊カラ東北線ニ連絡シタ方宜イト云フ御議論モアリマシタ、此線路ニ就テハ、政府ニ於キマシテモ著手スルマデニハ十分調査シテ、之ヲ決定スルト云フコトデアッタノデアリマス、委員會ハ滿場一致可決致シマシタカラ、宜シク諸君ノ御賛同ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告通リ、可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ本案ハ委員長報告ノ通り可決致シマシタ、是ニテ日程ハ終リマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會

午後四時七分散會